ONKYO®

CD/MD チューナーアンプシステム

X-T1X

FR-T1X(CD/MDチューナーアンプ)
D-T1X(スピーカーシステム)

取扱説明書

MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

基 本 編

はじめに

接続する

こんなこともできます →

基本の操作

ラジオを聞く

こんなこともできます →

CDを聞く

応 用 編

外部機器を接続する

放送局を編集する

目次

基本編

MDを聞く

こんなこともできます

録音する

こんなこともできます

時計とタイマー

その他の設定

その他

応用編

MDグループ機能

録音の設定

名前をつける

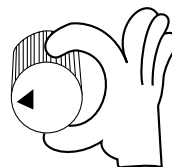
主な特長

「X-T1X」はFR-T1XとD-T1Xで構成されています。

■ 多彩な録音モード、SP、LP2、LP4、Mono（モノ）にも対応
■ たくさん入った曲を整理するMDグループ機能
■ MDネーム入力をさらに快適にするネームコピー機能
■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link（リンク）（Digital（デジタル） Rec（レック） Level（レベル） Adjustment（アジャストメント））機能
■ CD→MD高速ダビング機能
■ 音楽用CD-R、CD-RW再生にも対応※1
■ FMオートプリセット可能。FM、AM合わせて30局メモリー可能なチューナー搭載
■ デジタル録音時のレベル調整ができるデジタル録音ボリューム搭載
■ 重低音の調整ができるS.BASS（スーパーバス）機能、低音や高音を調整できるTONE（トーン）機能

※1 PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済みのディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

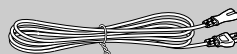
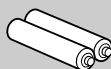
付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●電源コード 1.5m（1）

ご注意

付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●リモコン－RC-702S（1）

●単3乾電池（2）

●取扱説明書(本書)（1）
●簡単操作ガイド（1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

スピーカーに同梱の付属品

●スピーカーコード 1.1m（2）

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という 内容を表しています。	高温注意 感電注意
⊘記号は「〜してはいけない」という 禁止の内容を表しています。	分解禁止 ぬれ手禁止
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。	電源プラグをコンセントから抜く 必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CD/MDチューナーアンプには内部の温度上昇を防ぐため、通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- CD/MDチューナーアンプを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （CD/MDチューナーアンプの天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠警告

使用上のご注意

■CD/MDチューナーアンプ内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CD/MDチューナーアンプの通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない
- CD/MDチューナーアンプの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
また、強度の足りない壁や天井に取り付けないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■製品の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD/MDチューナーアンプの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

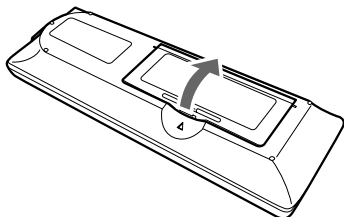
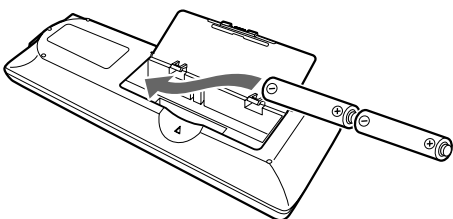
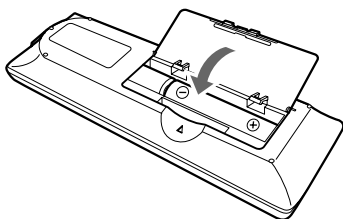
製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■製品のお手入れについて
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

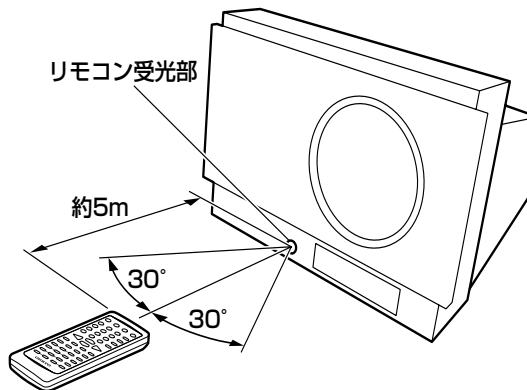
リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

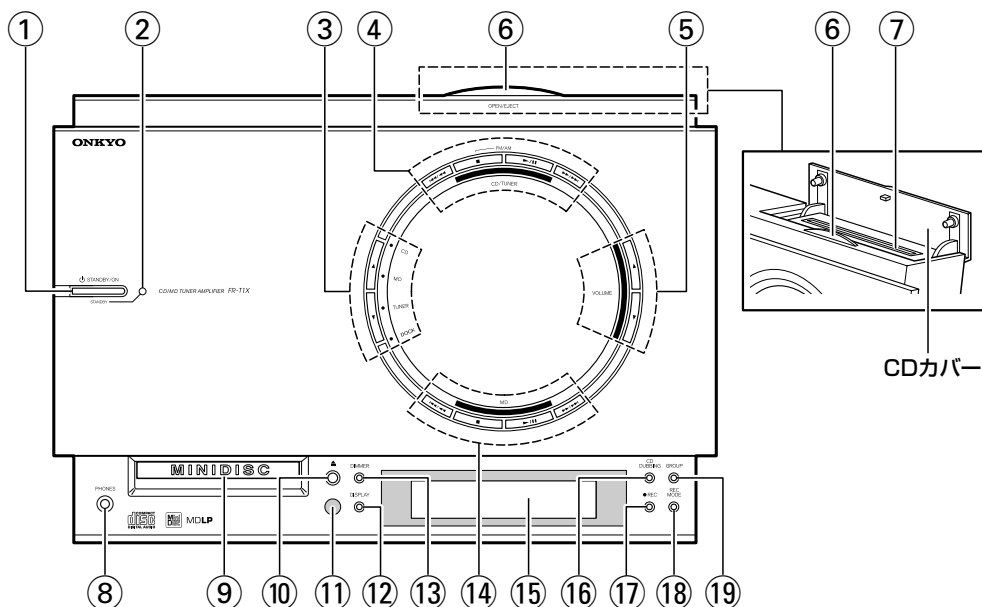
リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕のページに主な説明があります。

① STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタン〔20〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

② STANDBY（スタンバイ）インジケーター〔20〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

③ 入力選択部の▲/▼ボタンとインジケーター〔21、25、53、55〕
聞くソースを選びます。選択した入力ソースのインジケーターが点灯します。

④ CD/TUNER（チューナー）部操作ボタン

⏮/◀◀ボタン〔25、28、36、53〕
CDを聞いているときは、押すたびに1つ前の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早戻しします。
ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。

■（ストップ）（FM/AM）ボタン〔25、28〕
CDを聞いているときは、再生を停止します。
ラジオを聞いているときは、押すたびにFMとAMを切り換えます。

▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタン〔28〕
CDの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。
他のソースを聞いているときに押すと、入力ソースがCDに切り換わり、CDの再生を始めます。

▶▶/⏭ボタン〔25、28、36、53〕
CDを聞いているときは、押すたびに次の曲を選びます。
再生中に押し続けると、再生中の曲を早送りします。
ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。

⑤ VOLUME（ボリューム）▲/▼ボタンとインジケーター〔21〕
音量を調節します。電源を入れるとインジケーターが点灯します。

⑥ OPEN（オープン）/EJECT（イジェクト）ボタン〔28〕
CDを取り出すときに押します。ボタンを押すとCDカバーが開き、CDが出てきます。CDカバーは手で閉めてください。

⑦ CD挿入部〔28〕
CDを挿入します。軽く押すと、本機内部に引き込まれます。

⑧ PHONES（フォーンズ）端子〔21〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑨ MD挿入部〔32〕
MDを挿入します。

⑩ MD▲（イジェクト）ボタン〔32〕
MDを取り出します。

⑪ リモコン受光部〔9〕
リモコンからの信号を受信します。

⑫ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン〔25、50、51、54〕
表示部の情報を切り換えます。
文字入力時、文字の種類を選べます。

⑬ DIMMER（ディマー）ボタン〔21〕
表示部の明るさを切り換えます。
表示部を暗くしたときは、VOLUME（ボリューム）部、MD部、CD部のインジケーターも消灯します。

⑭ MD部操作ボタン

|◀◀/◀◀ボタン〔32〕
押すたびにMDの1つ前の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早戻しします。

■ボタン〔32〕
MDの再生や録音を停止します。

▶/❚❚ボタン〔32、53、55〕
MDの再生や録音（録音待機状態から）を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。

▶▶/▶▶|ボタン〔32〕
押すたびにMDの次の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早送りします。

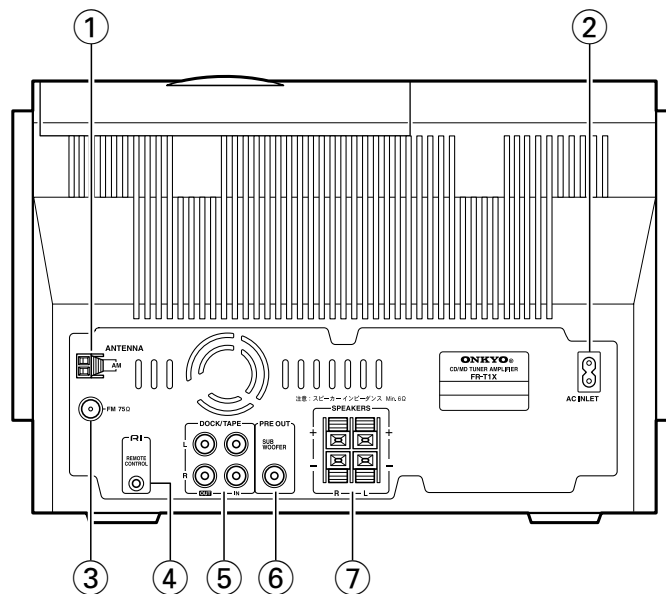
⑮ 表示部〔12〕
12ページをご覧ください。

⑯ CD DUBBINGボタン〔50〜52〕
CDダビングを開始します。2回押すとCD高速ダビングを開始します。

⑰ ●RECボタン〔53〜55〕
MDを録音待機状態にします。

⑱ REC MODEボタン〔56〕
録音モードを設定します。

⑲ GROUPボタン〔36〕
グループ選択、グループ再生をするときに使用します。

背面パネル

① ANTENNA（AM）端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

② AC INLET
付属の電源コードを接続します。

③ ANTENNA（FM75Ω）端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

④ RI REMOTE CONTROL端子
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

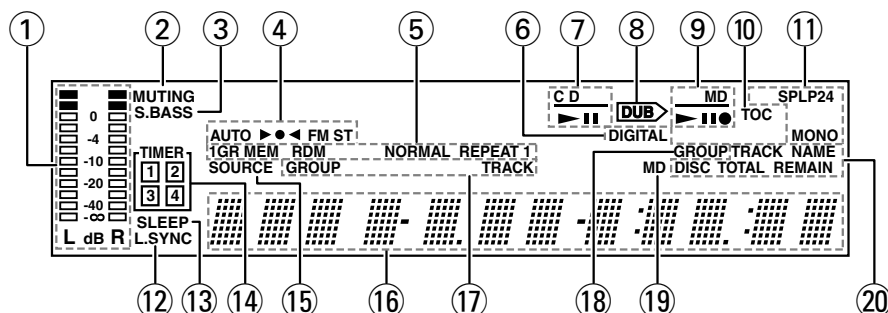
⑤ DOCK/TAPE（OUT/IN）端子
オーディオ用ピンコードを使って、オンキヨー製リモートインタラクティブドック（RIドック）やテープデッキなどを接続する端子です。

⑥ PRE OUT端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑦ SPEAKERS端子
スピーカーを接続する端子です。
同梱のスピーカー（D-T1X）を接続します。

接続については、15〜19ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

表示部

① **レベル表示**
音声レベルを表示します。

② **MUTING表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

③ **S.BASS表示**
スーパーバス設定時に点灯します。

④ **FM/AM受信情報**
FM/AM受信時の情報を知らせます。(☞22、25ページ)

⑤ **再生モード表示**

1GR	：1GRグループ再生時に点灯します。
MEM	：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM	：ランダム再生時に点灯します。
NORMAL	：通常再生時に点灯します。
REPEAT	：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1	：1曲リピート再生時に点灯します。

⑥ **DIGITAL表示**
MDに録音される信号の種類を表示します。

⑦ **CD 再生表示**
CDの再生状態を表示します。

⑧ **DUB表示**
CDダビング時に点灯します。

⑨ **MD再生、録音表示**
MDの再生、録音状態を表示します。

⑩ **TOC表示**
録音や編集など、MDに情報を書き込むときに、点灯や点滅します。

⑪ **録音モード表示**
再生や録音するモードが点灯します。

⑫ **L.SYNC表示**
レベルシンクが働いているときに点灯します。

⑬ **SLEEP表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑭ **TIMER表示**
タイマーのセット状態を表示します。
1 ～4：タイマー1～4設定時に点灯します。
□：タイマー録音設定時に点灯します。

⑮ **SOURCE表示**
再生されているソースが表示されているときに点灯します。

⑯ **多目的表示部**
再生時間や名前などを表示します。

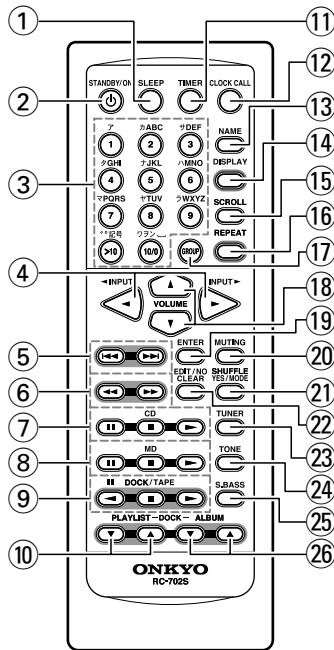
⑰ **GROUP/TRACK表示**

GROUP表示	：グループ数が表示されているときに点灯します。
TRACK表示	：トラック数が表示されているときに点灯します。

⑱ **GROUP表示**
グループ名が表示されているときに点灯します。

⑲ **MD表示**
録音中、表示をMDにすると点灯します。

⑳ **CD/MD情報**
多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

リモコン（RC-702S）〔 〕のページに主な説明があります。

① **SLEEPボタン〔61〕**
スリープタイマーの設定に使用します。

② **STANDBY/ONボタン〔20、60、64〕**
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ **文字、記号、アルファベット、数字ボタン〔29、33、60〕**
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

④ **INPUT◀/▶ボタン〔21、40〜44〕**
押すごとに入力が切り換わります。

⑤ **⏮/⏭ボタン〔24、25、29、33、60、62、65〕**
CD、MDのときは前後の曲を選びます。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

⑥ **◀◀/▶▶ボタン〔22、29、32〕**
再生中の曲を早戻し、早送りします。文字入力時、カーソル移動をします。また、周波数の選択にも使用します。

⑦ **CD操作ボタン〔29〕**
❙❙：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

⑧ **MD操作ボタン〔33〕**
❙❙：再生、録音を一時停止します。
■：再生、録音を停止します。
▶：再生、録音（録音待機状態から）を始めます。

⑨ **別売のオンキヨー製RI ドック/テープデッキ操作ボタン**
◀/❙❙：テープデッキのB（裏）面を再生します。RIドックやCD-Rの場合は、一時停止として働きます。
■：再生、録音や早送り、巻戻し（早戻し）を停止します。
▶：再生します。テープデッキの場合は、A（表）面を再生します。

⑩ **PLAYLIST▲/▼ボタン**
接続しているRIドックのプレイリストをアップダウンします。

⑪ **TIMERボタン〔60、62、65〕**
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑫ **CLOCK CALLボタン〔60〕**
時刻を表示させるときに押します。

⑬ **NAMEボタン〔69〕**
文字を入力するときに使用します。

⑭ **DISPLAYボタン〔25、29、33、60、69〕**
押すたびに表示部の情報が切り換わります。

⑮ **SCROLLボタン〔33、69〕**
表示部に表示された文字を移動表示します。文字入力時、文字の種類を選べます。

⑯ **REPEATボタン〔31、35〕**
MDやCDをくり返し再生します。

⑰ **GROUPボタン〔36、37、39〜42〕**
グループを選択するときに押します。

⑱ **VOLUME▲/▼ボタン〔21〕**
音を調節します。

⑲ **ENTERボタン〔23、24、26、27、40、60、62〕**
編集や各設定で項目の確定をします。

⑳ **MUTINGボタン〔21〕**
音量を一時的に消します。

㉑ **SHUFFLE/YES/MODEボタン〔24、25、30、31、34、35〕**
録音、再生、設定などで、選択した項目を決定します。メモリー再生やランダム再生を設定します。

㉒ **EDIT/NO/CLEARボタン〔23、24、26、27、38、39、43〜47、56〜59、67〕**
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

㉓ **TUNERボタン〔22、23、25〕**
入力をチューナーに切り換えます。押すたびに、FMとAMを切り換えます。

㉔ **TONEボタン〔66〕**
低音、高音を調整します。

㉕ **S.BASSボタン〔66〕**
重低音を強調します。

㉖ **ALBUM▲/▼ボタン**
接続しているRIドックのアルバムリストをアップダウンします。

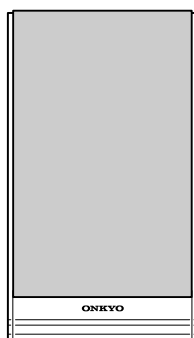
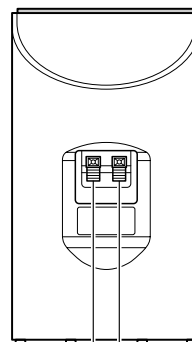
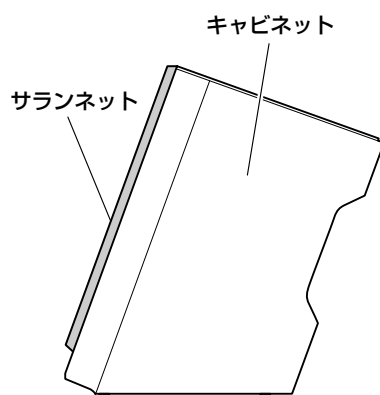
※オンキヨー製のRIドックやテープデッキ、CDレコーダーを接続しているときに使用できるボタンについての詳細は、67ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

スピーカー

D-T1Xは左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

●前面

●背面

●側面

ご注意

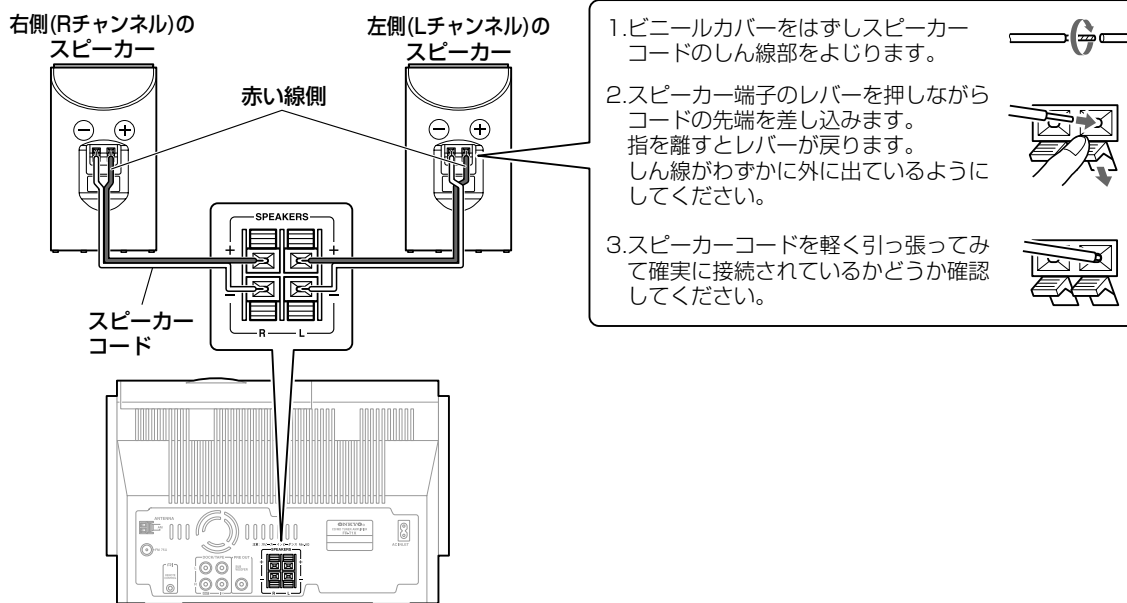
このスピーカーシステムは、前面のサランネットを取りはずすことができない構造になっています。無理にはずそうとすると、故障の原因となりますのでおやめください。

接続する

スピーカーを接続する

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが6Ω（オーム）〜16Ωのものを接続してください。6Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
同梱のスピーカー(D-T1X)は、本機(FR-T1X)に合うように設計されています。本機(FR-T1X)と他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますので、ご了承ください。
- スピーカーの(＋)と本体の(＋)を、スピーカーの(−)と本体の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を(＋)側に接続してください。

- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列に接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

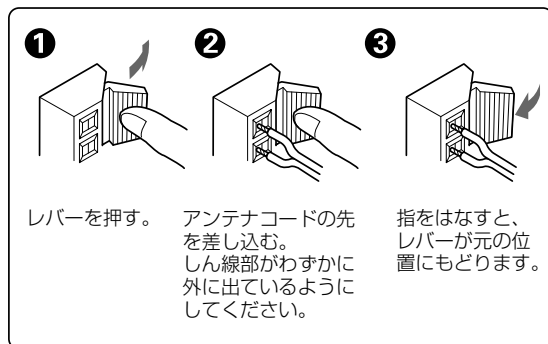
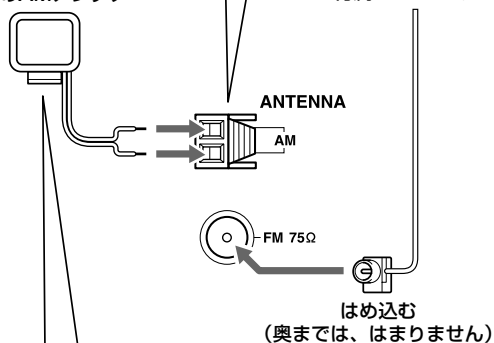
例1：

例2：

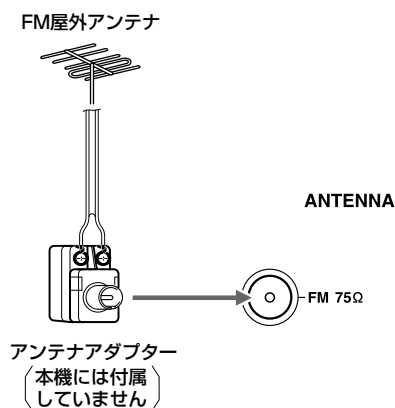
接続する

ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞22ページ）

！ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、+/−の区別はありません。）

FM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

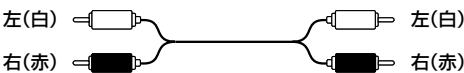
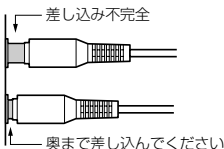
ご注意

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

外部機器を接続する

接続の前に
- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは すべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。
- 赤いプラグを右チャンネル（Rの表示）、白いプラグを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、CD/MDチューナーアンプの出力音声に雑音が入るときは、CD/MDチューナーアンプをテレビからできるだけ離して設置してください。

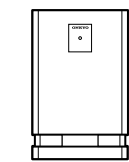
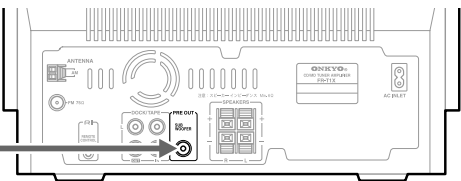
設置の際は、CD/MDチューナーアンプの上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

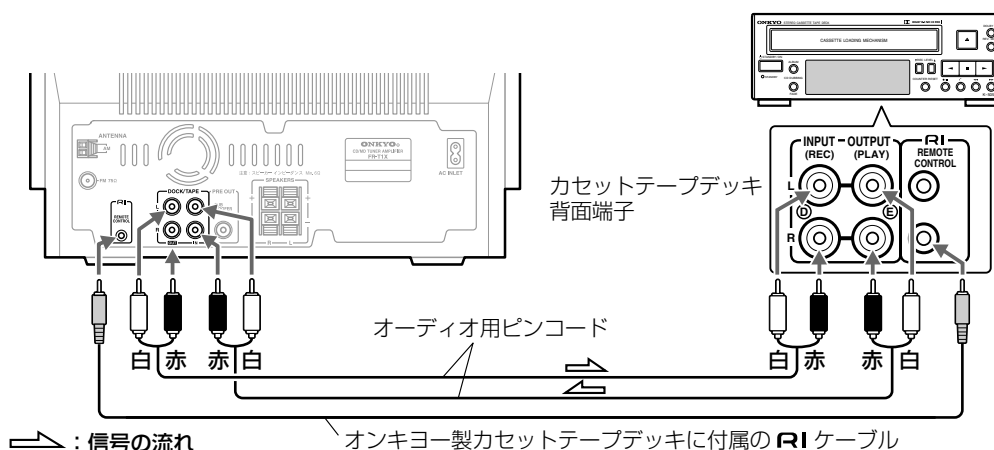
音声ケーブルと端子の種類について

製品にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
オーディオ用 ピンコード		L R	アナログ音声を伝送します。

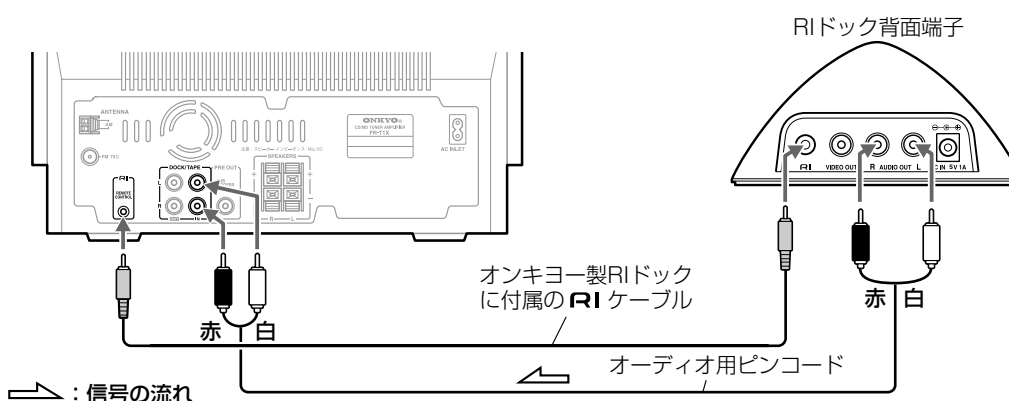
サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

本機のDOCK/TAPE OUT端子とカセットテープデッキの音声入力端子INPUT（REC）を接続してください。
本機のDOCK/TAPE IN端子とカセットテープデッキの音声出力端子OUTPUT（PLAY）を接続してください。

オンキヨー製カセットテープデッキとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

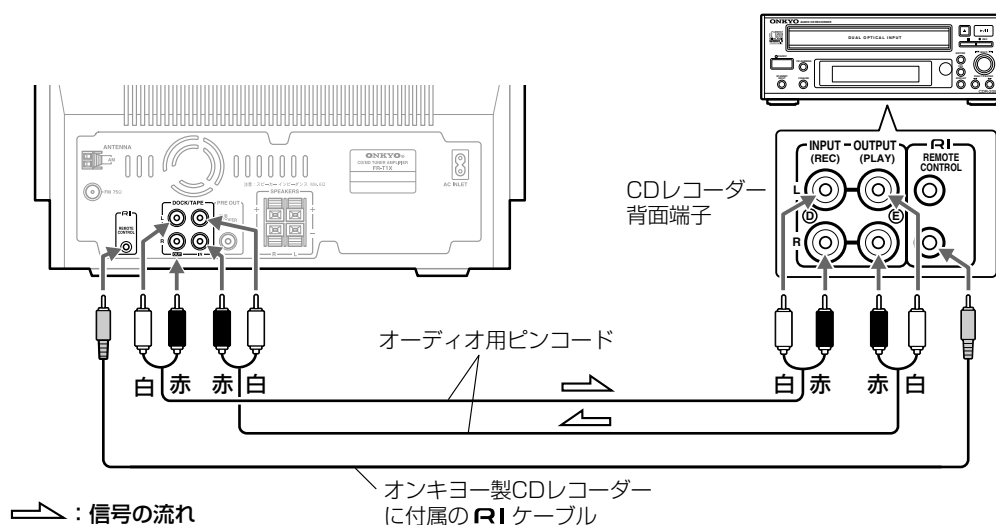
- 製品付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（☞67ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞54ページ）

リモートインタラクティブドック（RIドック）を接続する

オンキヨー製DS-A1XなどのRIドックを本機と接続します。
本機のDOCK/TAPE IN端子とRIドックの音声出力端子を接続してください。

オンキヨー製RIドックとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

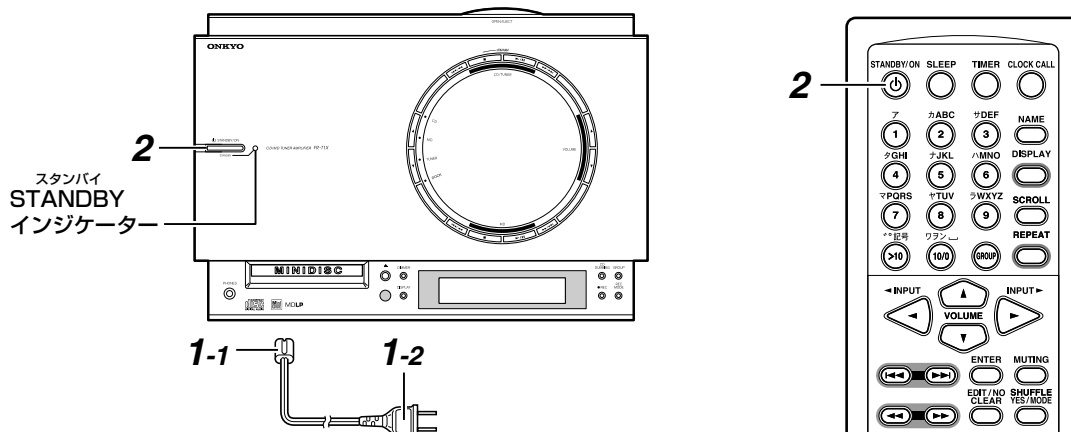
- 製品付属のリモコンでRIドックも操作できます。
- 外部入力の表示名称を「DOCK」にする必要があります。（☞67ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」ですので、そのままお使いください。）また、RIドックのMODEスイッチをDOCKにしてください。
- オンキヨー製RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的にDOCKに切り換わります。

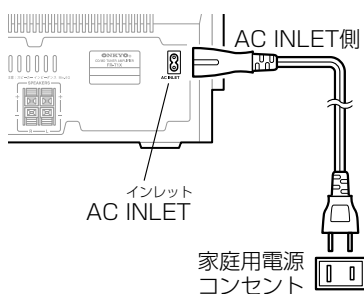
CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

本機のDOCK/TAPE OUT端子とCDレコーダーの音声入力端子を接続してください。
本機のDOCK/TAPE IN端子とCDレコーダーの音声出力端子を接続してください。

オンキヨー製CDレコーダーとRI接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 製品付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞67ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。

電源を入れる

電源を入れる前に
- 15～19ページの接続がすべて終了しているか確認してください。

1

付属の電源コードを本体背面のAC INLETにつなぎ（*1-1*）、プラグを家庭用電源コンセントに接続する（*1-2*）

STANDBYインジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

ご注意
- **付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。**
  また、付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、本機のAC INLETから電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。
  誤ってコードのAC INLET側をさわると、感電する場合があります。

2

本体

または

リモコン

STANDBY/ON

本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

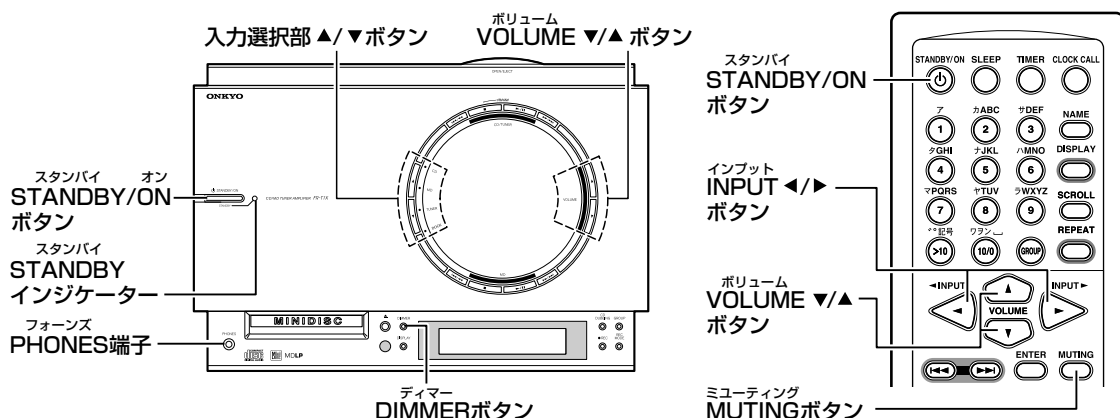
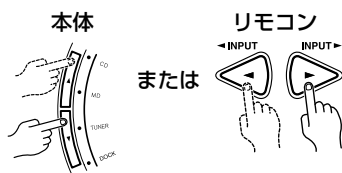
電源を切るときは、同じボタンをもう一度押します。

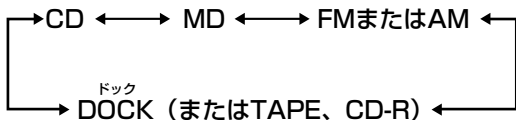
！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製RIドックやカセットテープデッキなどの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

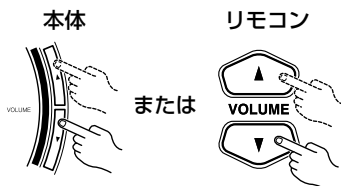
電源コードをコンセントから抜く場合は

必ずSTANDBY/ONボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。電源スイッチ付きのテーブルタップに電源コードを接続しているときも、電源を切る前に本機をスタンバイ状態にしてください。

基本の操作を理解する

入力を切り換える

本体の入力選択部の▲/▼ボタンまたはリモコンのINPUT◀/▶ボタンを押して切り換える

CD、MD、FM放送、AM放送、接続した外部機器から選べます。選択した入力のインジケーターが点灯します。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

！ヒント

DOCK/TAPE端子に接続している機器がカセットテープデッキやCDレコーダーの場合は、表示部に表示される名前を変更することができます。（☞67ページ）また、オンキヨー製のカセットテープデッキやCDレコーダーをRI接続しているときは、名前を変更するとシステム動作が可能になり、本機に付属のリモコンで操作することができるようになります。

音量を調節する

本体またはリモコンのVOLUME▲/▼ボタンを押す

音を一時的に消す

リモコンのMUTINGボタンを押す

MUTING表示が点滅し、音を一時的に消します。

解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押します。

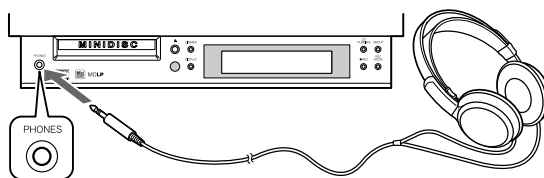
- 音量を変えたり、STANDBY/ONボタンを押した場合にも解除されます。

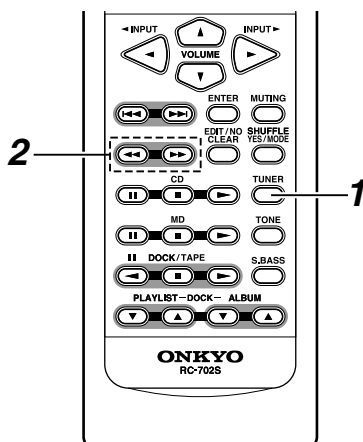
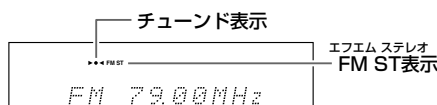
表示部およびインジケーターを暗くする

本体のDIMMERボタンを押す

ボタンを押すと表示部は暗くなり、VOLUME部、MD部、CD部のインジケーターは消灯します。もう一度押すと元に戻ります。

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

FM/AM放送を聞く

手動で周波数を合わせて聞く（リモコンのみ）

チューニングしている間は、▶　◀が点滅します。
放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

TV音声について
テレビのVHF1〜3チャンネルの音声を聞くことができます。
1CH:95.75MHz、2CH:101.75MHz、3CH:107.75MHz

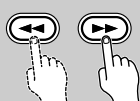
- 本機のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。そのため、地域によっては、FM放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声はモノラルで受信されます。

操作の前に
電源を入れてください。

1

リモコンのTUNER（チューナー）ボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。

2

リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

一回押すごとに周波数がＦＭでは０.０５MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀◀または▶▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。
なお、自動的に周波数が上がり（下がり）するときは、FMは0.1MHzずつ変わるため、テレビの1〜3チャンネルには自動的に止まりません。テレビの1〜3チャンネルの周波数は手動で合わせてください。

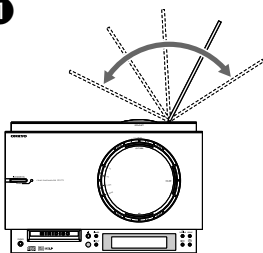
本体では操作できません。

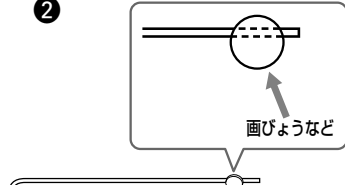
お知らせ
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。本機で受信できるVHF1〜3CHについても同様となります。

アンテナの調整をする

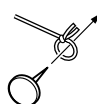
FM室内アンテナを調整して固定する

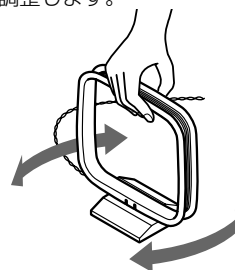
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント
はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

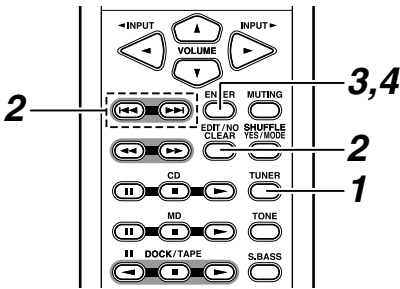
AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

！ヒント
マンションなど、鉄筋構造の家屋の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところに設置してください。

放送局を登録して聞く

FMを自動で登録する－オートプリセット－

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。AM局は自動で登録できませんので、次ページをご覧ください。

予 備 知 識

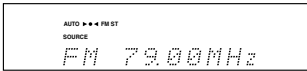
- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの範囲で行います。
- 既に放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞22ページ）

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞27ページ）

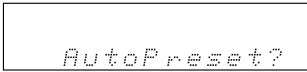
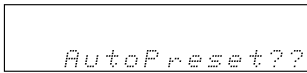
1

TUNER（チューナー）ボタンを(くり返し)押して、「FM」を表示させる

AUTO SOURCE FM ST
FM 79.00MHz

2

EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「AutoPreset?（オートプリセット?）」を表示させる

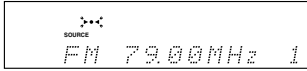
AutoPreset?

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??（オートプリセット??）」が表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押してください。

4

ENTERボタンを押す

SOURCE
FM 79.00MHz 1

オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に放送局を検索し、最大20局まで登録していきます。

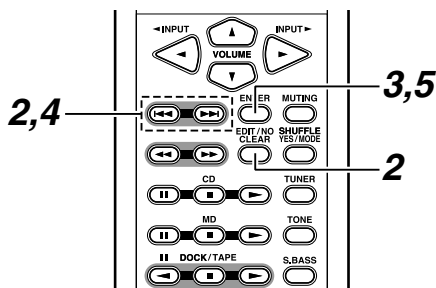
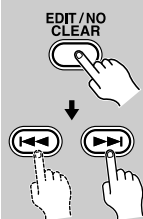
！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞68ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞27ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞26ページ

1局ずつ登録する－プリセットライト－

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。（FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。）

予備知識

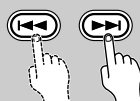
- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

1
22ページの方法で放送局を受信する

2
EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Preset Write?（プリセットライト?）」を表示させる

PresetWrite?

3
ENTER（エンター）ボタンを押す

SOURCE AM 810kHz 1

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押します。

4
別のチャンネルに登録するときは、⏮/⏭ボタンを押す

SOURCE AM 810kHz 4

5
ENTERボタンを押して決定する

ENTER

放送局が登録され、「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、通常表示に戻ります。

- **「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは**

Overwrite? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。
○すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE（イエス/モード）ボタンを押します。
○登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押します。

SHUFFLE YES/MODE

EDIT/NO CLEAR

- **「Memory Full（メモリーフル）」と表示されたときは**

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞27ページ）、再度登録してください。

6
次を登録するときは、手順*1*～*5*をくり返す

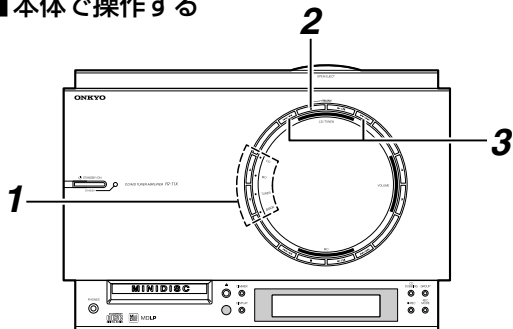
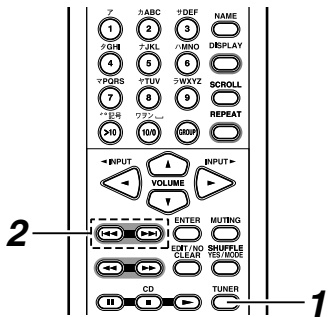
！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞68ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞27ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞26ページ

登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞23、24ページ）

■本体で操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1

入力をTUNER（チューナー）にする

入力選択部の▲/▼ボタンを押して「TUNER」を選びます。

2

CD/TUNER部の■（ストップ）ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ

3

CD/TUNER部の⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

■ リモコンで操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1

TUNERボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。

2

⏮/⏭ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

⏮ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

例） 登録番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	>10 2 2

表示部の情報を切り換える

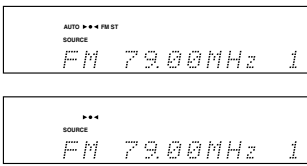
本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM/AM周波数 ⟷ 放送局に付けた名前

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（68ページ）

FM放送を受信しにくいときは

AUTO ▶•◀ FM ST
SOURCE
FM 79.00MHz 1

▶•◀
SOURCE
FM 79.00MHz 1

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのYES/MODE（イエス/モード）ボタンを押し、AUTO（オート）（オートステレオ）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）にもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

編集のヒント

チャンネル番号を変更するには
コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする（リモコンのみ）

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞68ページ）も同時にコピーされます。

1

FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す
例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

2

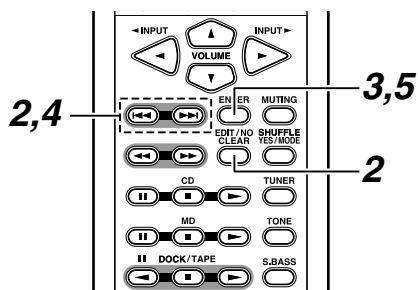
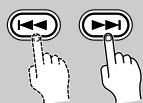
EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Preset Copy?（プリセット コピー?）」を表示させる

PresetCopy?

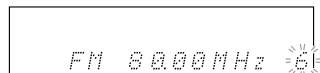
3

ENTER

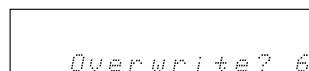
ENTER（エンター）ボタンを押す

FM 80.00MHz 4

4

⏮/⏭ボタンを押して、コピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.00MHz 6

5

ENTER

ENTERボタンを押す
放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。
「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6

選んだチャンネルは登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTERボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

X-T1X(22-31)(SN29344547) 26 07.4.13, 9:19 AM
ブラック

登録した放送局を削除する（リモコンのみ）

1

FMまたはAMの、削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき

```
FM 80.00MHz 4
```

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Preset Erase?」を表示させる

```
PresetErase?
```

3

ENTERボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

```
Erase OK? 4
```

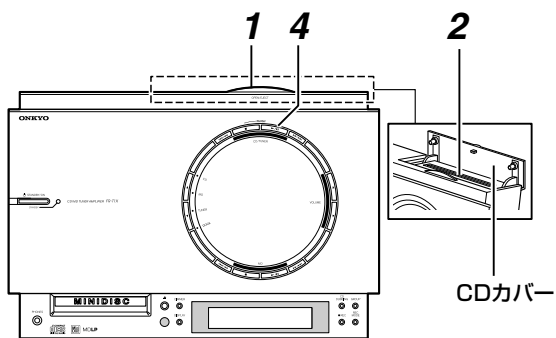
削除をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

4

ENTERボタンを押す

登録した放送局が削除され、
「Complete」（完了）が表示された後、
通常表示に戻ります。

CDを聞く

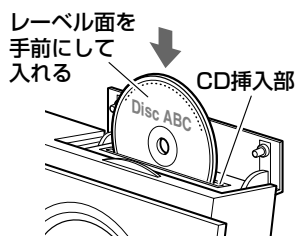
基本の操作

操作の前に
電源を入れてください。

1 OPEN/EJECTボタンを押す

CDカバーが開きます。

OPEN/EJECT

2 CD挿入部にCDを入れる

レーベル面（印刷面）を手前にして入れてください。

8cmCDもそのまま入れてください。アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

3 CDを軽く押す

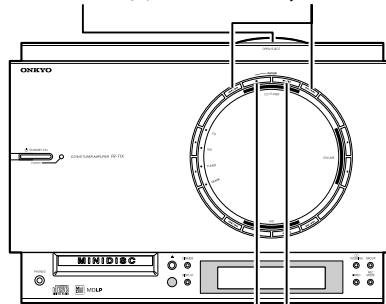
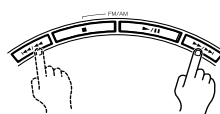
CDが本体に引き込まれます。

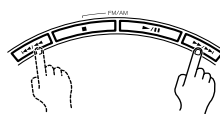
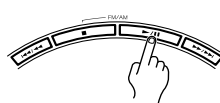
- CDカバーは手で閉めてください。
- CDをセットすると、緑色のインジケーターが点灯します。

4 CDの►/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。

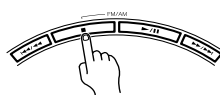
FM/AM
CD/TUNER

本体で操作する

聞きたい曲を選ぶ

再生中に⏮/◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中または一時停止中に押し続け、聞きたいところで指をはなします。

一時停止する

►/❚❚ボタンを押します。

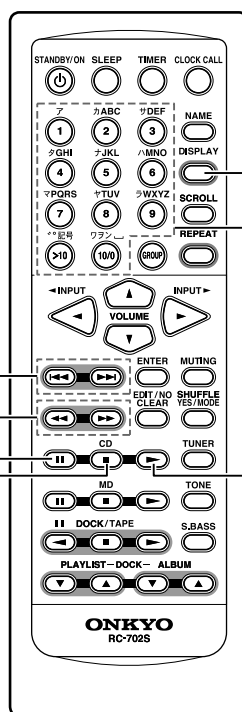
- 表示部に❚❚表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

■ボタンを押します。

CDを取り出す

OPEN/EJECTボタンを押すとCDカバーが開き、開き終わるとCDが出てきます。

- CDを取り出した後、CDカバーは手で閉めてください。

リモコンで操作する

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY(ディスプレイ)ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

総曲数　総再生時間（DISC(ディスク) TOTAL(トータル)）

再生中、一時停止中

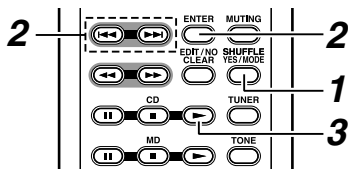
ご注意

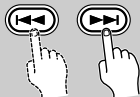
- ディスクを再生できない場合は、72ページを参照して本機に対応しているディスクかどうか、ご確認ください。
- OPEN(オープン)/EJECT(イジェクト)ボタンを押したあとは、CDをそのままの状態で長時間放置しないでください。ディスクの変形や破損の原因となります。ディスクはケースなどに入れて大切に保管してください。

CDのいろいろな再生

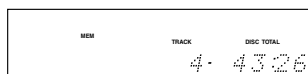
基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生（リモコンのみ）

- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。
- CDのお好みの曲をメモリーし、CDダビンク機能と組み合わせるとお好みのMDを簡単に作成できます。（CD高速ダビングはできません。）

入力がCDで停止中

1 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「MEM」を表示させる

「MEM」が点灯

2 |◀◀/▶▶|ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。(☞29ページ)

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を超えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。
99分59秒を超えると「--:--」となり26曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されます。

3 CDの▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲する

再生中に|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

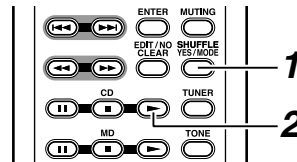
予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

☞「通常再生に戻す」31ページ
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

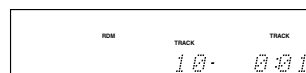
ランダム再生（リモコンのみ）

- 曲順をランダムに並べかえて再生します。

入力がCDで停止中

1 YES/MODEボタンを(くり返し)押して、「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

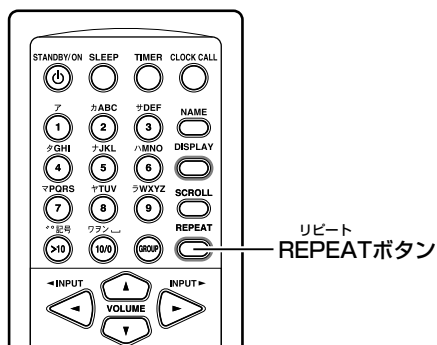
2 CDの▶ボタンを押す

再生が始まります。

再生中の曲番

解除するには

☞「通常再生に戻す」31ページ
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

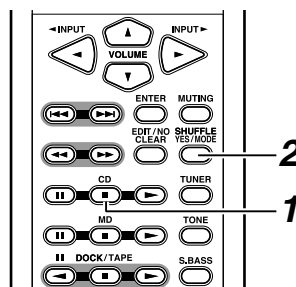
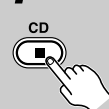
リピート/1TR リピート再生（リモコンのみ）

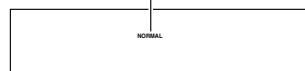
- リモコンで設定します。
- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生はCDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生は、メモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

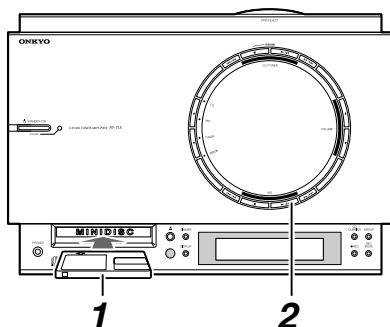
リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

リピート、1TR リピート再生を取り消す

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす（リモコンのみ）

メモリー、ランダム再生を取り消す

1 CDの■ボタンを押して再生を止める

2 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「NORMAL」を点灯させる

MDを聞く

基本の操作

操作の前に
電源を入れてください。

1

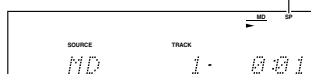
MDをセットする

再生専用か、録音済みのMDを選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。
MDをセットすると、緑色のインジケーターが点灯します。

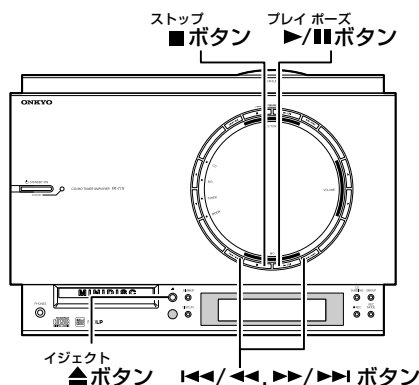
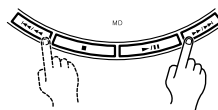
ご注意

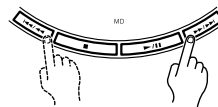
スタンバイ時は、MDをセットすることができません。電源を入れてからMDを挿入してください。

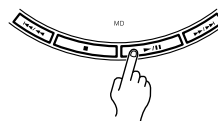
2

MDの►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

再生が始まります。

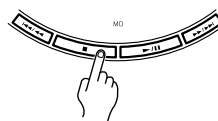
グループのあるMDのとき

本体で操作する

聞きたい曲を選ぶ

再生中に⏮/◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指をはなします。

一時停止する

►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。

- 表示部に❚❚表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

■（ストップ）ボタンを押します。

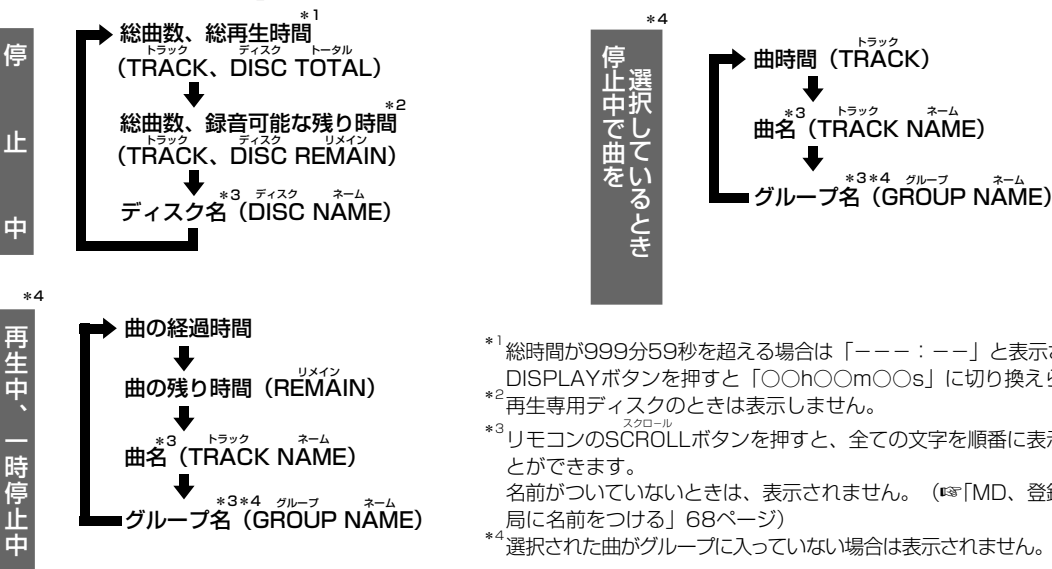
MDを取り出す

⏏（イジェクト）ボタンを押して、MDを取り出します。

リモコンで操作する

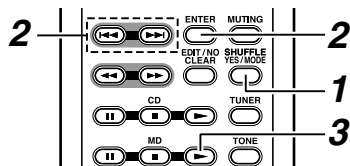
表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。何も録音されていないMDのときは、「MD Blank Disc」と表示されます。

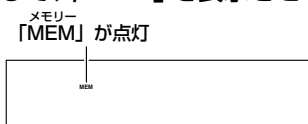
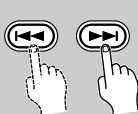
*1 総時間が999分59秒を超える場合は「－－－：－－」と表示されます。DISPLAYボタンを押すと「○○h○○m○○s」に切り換えられます。
*2 再生専用ディスクのときは表示しません。
*3 リモコンのSCROLLボタンを押すと、全ての文字を順番に表示させることができます。
名前がついていないときは、表示されません。（☞「MD、登録した放送局に名前をつける」68ページ）
*4 選択された曲がグループに入っていない場合は表示されません。

MDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生（リモコンのみ）

- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。
- グループ内の曲を選ぶには、36ページをご覧ください。

入力がMDで停止中

1 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「MEM」を表示させる

「MEM」が点灯

2 |◀◀/▶▶|ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。（☞33ページ）

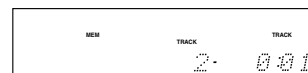
間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を超えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。999分59秒を超えると「---:--」となります。
また、26曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されます。

3 MDの▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

再生中の曲番

再生が終わっても予約内容は消えません。

予約した曲のなかで選曲する

再生中に|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

☞「通常再生に戻す」35ページ
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

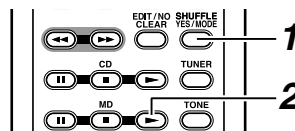
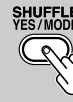
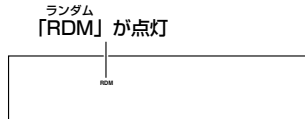
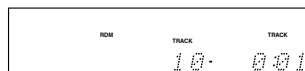
ランダム再生（リモコンのみ）

- 曲順をランダムに並べかえて再生します。

入力がMDで停止中

1 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「RDM」を表示させる

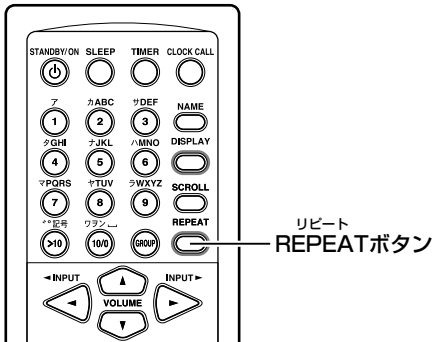
「RDM」が点灯

2 MDの▶ボタンを押す

再生が始まります。

再生中の曲番

解除するには

☞「通常再生に戻す」35ページ
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

リピート/1TR（ワントラック）リピート再生（リモコンのみ）

- リモコンで設定します。
- リピート再生はMDをくり返し再生します。
- 1TR（ワントラック）リピート再生はMDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生は1GR（ワングループ）再生（☞37ページ）、メモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。

リモコンのREPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT（リピート）」または「REPEAT（リピート） 1」を表示させる

「REPEAT（リピート）」または
「REPEAT 1」が点灯

リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

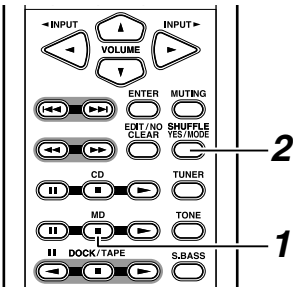
リピート、1TR リピート再生を取り消す

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす（リモコンのみ）

メモリー、ランダム再生を取り消す

1 MDの■（ストップ）ボタンを押して再生を止める

2 YES（イエス）/MODE（モード）ボタンを（くり返し）押して、「NORMAL（ノーマル）」を点灯させる

「NORMAL（ノーマル）」が点灯

MDグループ機能

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目～15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

曲番について

グループの中で1曲目から順番につきます。グループに入っていない曲は総曲数の表示になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	11	12
グループ1					グループ2						

グループの中の曲を選ぶ　入力がMDで停止中

■本体で選ぶ

1 GROUP（グループ）ボタンを押す

2 ⏮/⏪、⏩/⏭ボタンを押して、グループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3 GROUPボタンを押す

4 ⏮/⏪、⏩/⏭ボタンを押して、グループの中の曲を選ぶ

■リモコンで選ぶ

1 GROUPボタンを押す

2 ⏮/⏭ボタンでグループを選ぶ

3 GROUPボタンを押す

グループ番号の点滅が止まります。

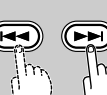
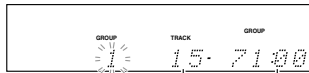
4 ⏮/⏭ボタンでグループの中の曲を選ぶ

MDグループを再生する

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
（☞38ページ）

MDグループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループから最後までを再生します。

1 GROUPボタンを押す

2 ⏮/⏭ボタンを押して、再生したいグループを選ぶ

！ヒント
数字ボタンで選ぶこともできます。

3 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント
本体のGROUPボタン、⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンでも操作することができます。

MD1グループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループのみ再生します。

1 GROUPボタンを押す

2 ⏮/⏭ボタンを押して、グループを選ぶ

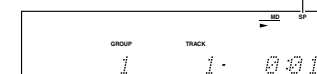
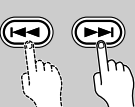
3 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「1GR」モードを選ぶ

4 ENTERボタンを押す

再生が始まります。
- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

MDグループスキップ

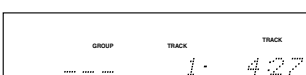
再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1 再生中にGROUPボタンを押す

2 ⏮/⏭ボタンを押して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント
本体のGROUPボタン、⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンでも操作することができます。

ご注意
- MD1グループ再生中は、操作できません。
- 「1GR」、「MEM」、「RDM」インジケーターが点灯しているときは、操作できません。

MDグループを作成/解除する

1GR、MEM、RDMが点灯していると編集できません。通常再生モード（NORMAL表示）にしてください。

グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない複数の曲をまとめて新規のグループに入れます。

1

⏮/⏭ボタンを押して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

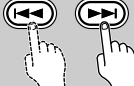
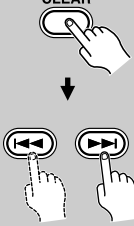
2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「○○Tr G. Set?」を表示させる

3

ENTERボタンを押す

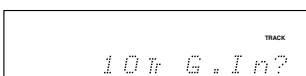
4

⏮/⏭ボタンを押して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

！ヒント

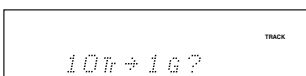
連続した曲（Tr）のみの選択になります。離れた曲（Tr）は、Move（☞45ページ）やグループイン（☞38ページ）機能を使用してください。

5

ENTERボタンを押す

グループが作成され、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

1

⏮/⏭ボタンを押して、グループに入れる曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「○○Tr G. In?」を表示させる

3

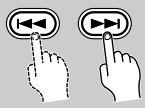
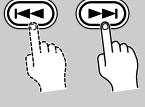
ENTERボタンを押す

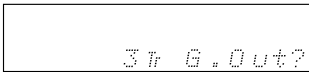
4

⏮/⏭ボタンを押して、どこのグループに入れるかを選ぶ

5

ENTERボタンを押す

選んだグループの最後に入り、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

グループアウト　入力がMDで停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

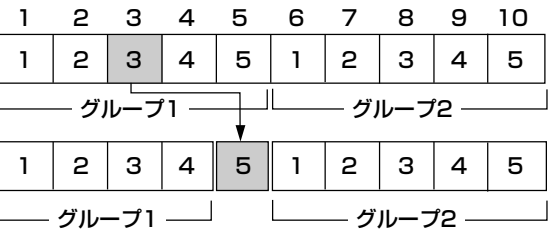
1

⏮/⏭ボタンを押して、グループから外す曲を選ぶ

2

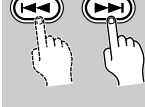
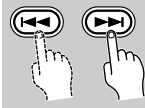
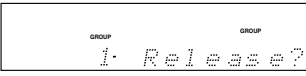
EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「○○Tr G. Out?」を表示させる

3

ENTERボタンを押す

選んだ曲がグループから外れ、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

選択グループの解除　入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1

GROUPボタンを押す

2

⏮/⏭ボタンを押して、解除するグループを選ぶ

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Release?」を表示させる

4

ENTERボタンを押す

選んだグループのみ解除され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

MDグループ機能

MDグループを編集/消去する

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

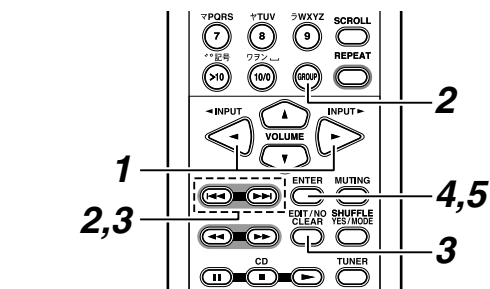
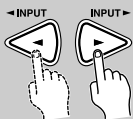
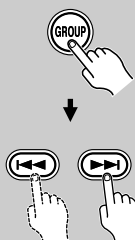
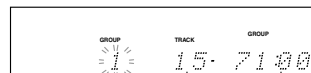
編集の組み合わせ

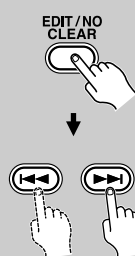
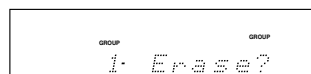
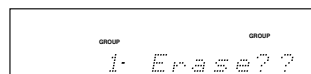
離れた2つのグループをつなぐ
（G.Move＋G.Combine）
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEMまたは、RDM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

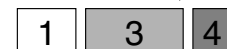
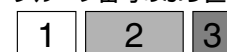
選択したグループに含まれる曲を全て消す－G.Erase　入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 GROUPボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して消すグループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

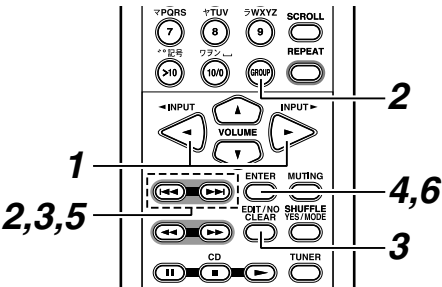
選択したグループが点滅します。

3 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Erase?」を表示させる

4 ENTERボタンを押す

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

5 ENTERボタンを押す

グループ内の曲が消され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの削除

グループを移動する－G.Move（グループ ムーブ）

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1
MDをセットして、入力をMDにする

2
GROUP（グループ）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して移動するグループを選ぶ

3
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Move?（ムーブ）」を表示させる

4
ENTER（エンター）ボタンを押す

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5
必要なときは、⏮/⏭ボタンを押して移動先のグループ番号を変える

6
ENTERボタンを押す

指定した曲が移動し、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

グループの移動

グループ番号のふり直し

X-T1X(32-42)(SN29344547) 41 07.4.13, 9:23 AM
ブラック

MDグループ機能

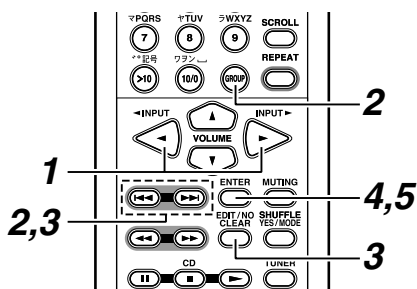
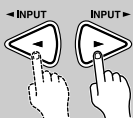
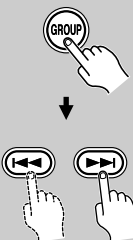
グループをつなぐ −G.Combine

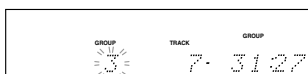
入力がMDで停止中

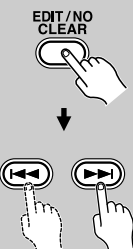
- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

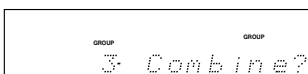
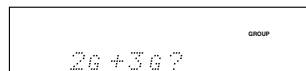
2

GROUPボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押してつなぐグループを選ぶ

GROUP 3 TRACK 7· 31:27

選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループを選ぶことはできません。

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Combine?」を表示させる

4

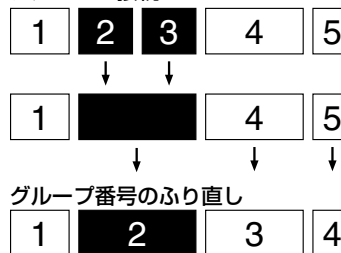
ENTERボタンを押す

GROUP 2G+3G?

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5

ENTERボタンを押す

グループがつながり、「Complete」(完了)が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

グループの接続

グループ番号のふり直し

MDを編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。(BLANK DISCになります。)

曲を消去する－Erase
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
(Divide ＋ Erase)
消去したい部分をDivide機能で(またはこの機能をくり返して)分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
(Move ＋ Combine)
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combineについてのご注意

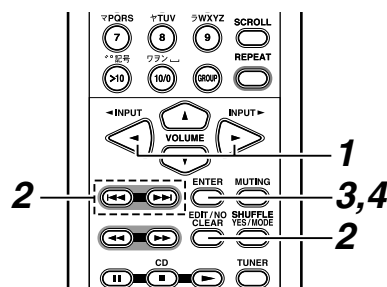
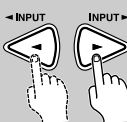
Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：Monoモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません。
デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

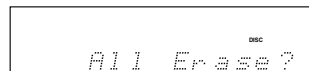
編集／消去についてのご注意

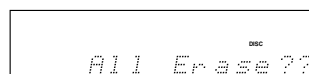
- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分(TOC)に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEMまたは、RDM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モード(NORMAL表示)にしてください。
- グループ作成されたMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲消去する－All Erase

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「All Erase?」(MDの録音をすべて消しますか?)を表示させる

All Erase?

3 ENTERボタンを押す

All Erase??

再確認のため、「All Erase??」(本当に消去していいですか?)が表示されます。

4 ENTERボタンを押す

「Complete」(完了)が表示され、「MD Blank Disc」が表示されます。

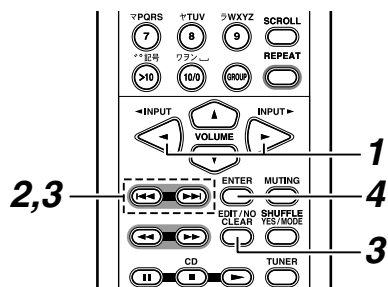
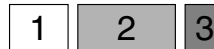
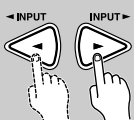
X-T1X(43-47)(SN29344547) 43 07.4.13, 9:26 AM
ブラック

MDを編集/消去する

1曲選んで消す－Erase（イレーズ）

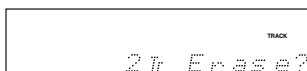
入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

⏮/⏭ボタンを押して消す曲を選ぶ

3

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Erase?（イレーズ?）」を表示させる

4

ENTER（エンター）ボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

曲を移動する－Move（ムーブ）

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

|◀◀/▶▶|ボタンを押して移動する曲を選ぶ

GROUP TRACK
1 2. 4 27

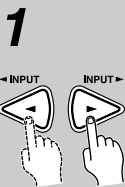
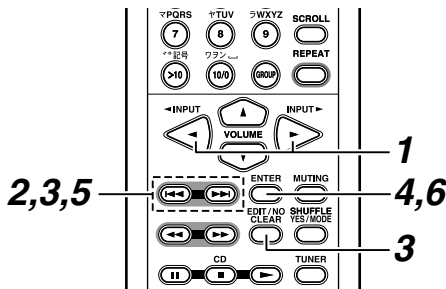
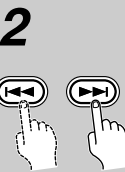
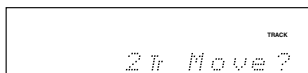
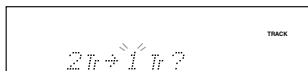
3

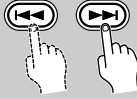
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Move?（ムーブ?）」を表示させる

TRACK
2Tr Move?

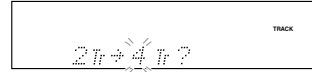
4

ENTER（エンター）ボタンを押す

TRACK
2Tr→1Tr?

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

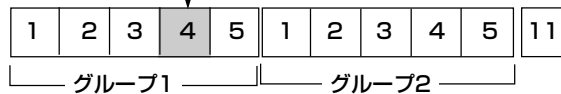
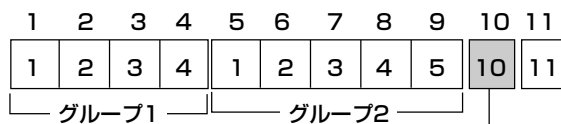
5

必要なときは、|◀◀/▶▶|ボタンを押して移動先の曲番を変える

TRACK
2Tr→4Tr?

6

ENTER

ENTERボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

- グループに入っている曲はグループ内でしか移動できません。他のグループに移動したい場合は、一度グループアウト機能でグループから出してから、新しいグループに移動します。
- グループに入っていない曲はグループの中に移動することができます。
- 曲を移動すると、曲順が入れ換わります。

グループ1の4Trになり、元の4Trは5Trになります。

MDを編集/消去する

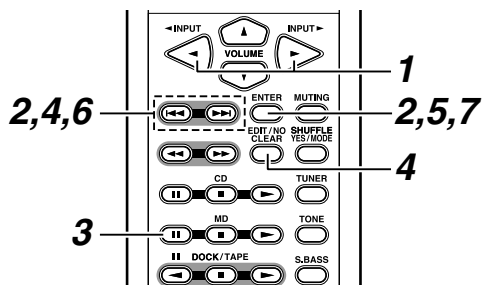
曲を分ける－Divide

入力がMDで再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞68ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

|◀◀/▶▶|ボタンを押してからENTERボタンを押し、分ける曲を再生する

3

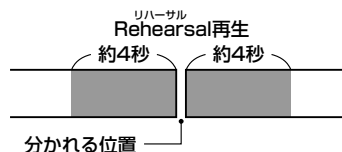
分けたいところでMDの❚❚ボタンを押す

一時停止になります。
リモコンの◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

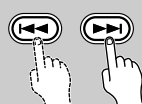
4

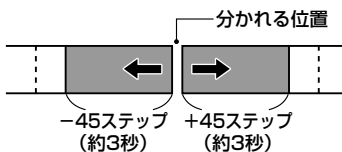
EDIT/NO/CLEARボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Divide?」を表示させる

2TrDivide?

5

ENTERボタンを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（この位置で良いですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置の前後4秒ずつをポーズをはさんでくり返し再生します。

6

音声を聞きながら|◀◀/▶▶|ボタンを押し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値−45〜+45（REC MODEがSP時 ± 約3秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

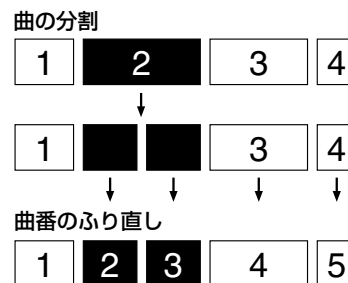
Position+11

7

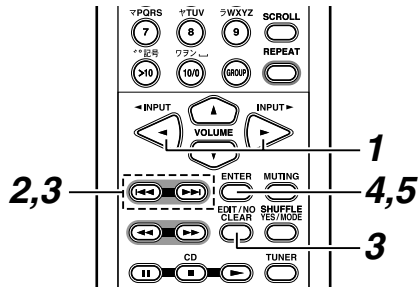
ENTER

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）が表示された後、曲の分かれたところで一時停止状態となります。
曲番は新たにふり直されます。

曲をつなぐ −Combine(コンバイン)

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■(ストップ)ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

⏮/⏭ボタンを押してつなぐ曲を選ぶ

選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目を選ぶことはできません。

3

EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Combin?(コンバイン)」を表示させる

2 Tr Combin?

4

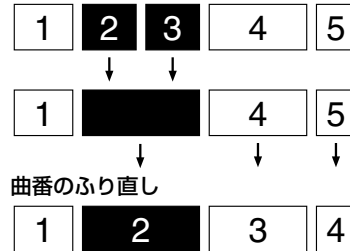
ENTER(エンター)ボタンを押す

1 Tr + 2 Tr ?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5

ENTERボタンを押す

「Complete(コンプリート)」(完了)が表示され、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

ご注意

- 異なるグループに入っている曲とつなぐことはできません。たとえば、1グループの最後の曲と2グループの最初の曲をつなぐことはできません。
- 異なる録音モードで録音した曲はつなぐことはできません。また、デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐこともできません。
- 下表のように1曲の時間が短いと、曲をつなげないことがあります。

	曲の長さ
SPモード LP2/Monoモード LP4モード	12秒以下 24秒以下 48秒以下

録音する

MDの基礎知識

MDには再生専用と録音用の2種類があります。
カセットテープなどは巻き戻しておくと前回録音したものに上書きして録音されますが、MDの場合は、以前録音された曲の続きに録音されます。始めから録音したい場合は、すでに録音されているものを消去してから録音を開始します。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））に書き込まれます。

TOC表示が点灯しているとき（録音中や名前をつけたときなど）
MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）
MDに情報を書き込んでいます。この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。

MDLPって？

人の耳には聞こえない音をカットし、データを圧縮して録音します。そのため、録音可能時間が通常の2倍や4倍になります。LP2やLP4などが選べます。

グループ機能って？

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPでたくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。（☞36ページ）

■録音モードと録音可能時間

録音モード ＼ ディスクの種類	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
SP（ステレオ録音）	約80分	約74分	約60分
LP2（ステレオ録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
LP4（ステレオ録音）	約5時間20分	約4時間56分	約4時間
MONO（モノラル録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間

- LP2、LP4のモードで録音したディスクは、LP2、LP4モード非対応機器で再生することはできません。

録音方法の種類

デジタルで録音されたCD-RからMDへデジタル録音することはできません。

CDダビング ・・・・・・・ **CD DUBBING（ダビング）ボタンを使って本機CDからMDにワンタッチで録音する**
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MDに曲番は自動でつきます。
- DLAリンク（自動で最適な録音レベルに調整する機能）のオン/オフが可能です。

CD高速ダビング ・・・・ **上記のCDダビングを約1/4の時間で行います**
- DLAリンクは働きません。

シンクロ録音 ・・・・・・ **オンキヨー製外部機器からMDに録音する**
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

シグナル シンクロ録音 ・・・・・・・・・・ **その他の外部機器からMDに録音する**
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

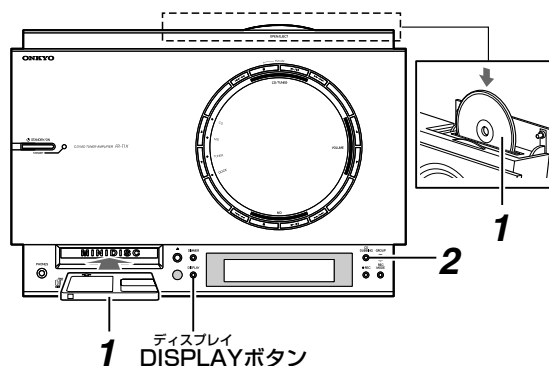
こんな録音はどうするの？		この機能や設定を使うと便利です	
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	➡	CDダビング （CD高速ダビングもできます）	50ページ 51ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定CDダビング	52ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	52ページ
たくさんのシングルCDをMDに録音したい	➡	トラック指定CDダビング	52ページ
短時間で録音をすませたい	➡	CD高速ダビング	51ページ
FM/AM放送を録音したい	➡	FM/AM放送をMDに録音する	53ページ
オンキヨー製カセットテープデッキやCDレコーダーからMDに録音したい	➡	シンクロ録音	54ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	➡	シグナルシンクロ録音	55ページ
たくさんの曲を1枚のMDに入れたい	➡	録音モードを切り換える	56ページ
グループを作りながら録音をしたい	➡	MDグループ録音設定	56ページ
MDの最後の曲をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング設定	57ページ
CDの音量レベルのままでCDダビングしたい	➡	DLAリンクを切り換え、 CDダビングをする	57ページ 50ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する	58ページ
CDからMDにアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	58ページ 54ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える	59ページ

録音する

CDをMDに録音する（CDダビング）

- ワンタッチデジタル録音です。
- 曲番は自動でつきます。

ご注意

CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

1

DISPLAY

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

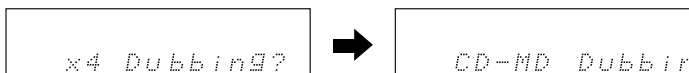
入力をMDにして、DISPLAYボタンを(くり返し)押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。(☞56ページ)

2

CD DUBBING

CD DUBBINGボタンを押す

➡ CD-MD Dubbin

“X4 Dubbing?”が2秒間表示されます。

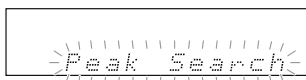
“CD-MD Dubbing DLA Link On”または“CD-MD Dubbing DLA Link Off”がスクロールします。

<DLAリンク>

CDはPeak Search（最大レベルの検出）を行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。（この機能をオフにすることもできます。☞57ページ）

！ヒント

Peak Searchは最長で120秒かかることがあります。

CD ダビング中のご注意

►/❚❚、▲などのボタンは働きません。

<録音開始>

その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間と同じだけの時間がかかります。

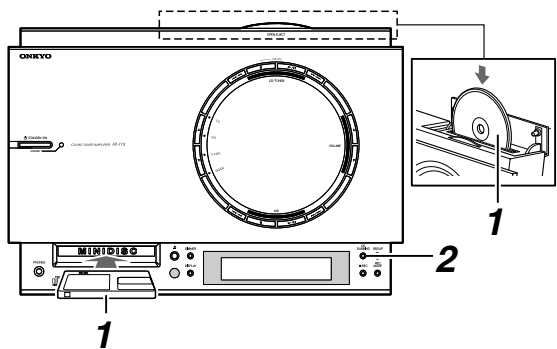
録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

<録音停止>

CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

CDをMDに録音する（CD高速ダビング）

- デジタル録音を通常の約1/4の時間で行います。
- 曲番は自動でつきます。
- DLAリンクは働きません。
- CD高速ダビング中、音声は聞こえません。
- CDがメモリー再生、ランダム再生モードになっているときは、CD高速ダビングはできません。リピート再生は解除されます。
- CD高速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

1

DISPLAY

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞56ページ）

2

CD DUBBING

CD DUBBINGボタンを2回押す

CD DUBBINGボタンは続けて2秒以内に押してください。

CD-MD×4 Dubbing　がスクロールします

＜録音開始＞
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間の約1/4の時間がかかります。

＜録音停止＞
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

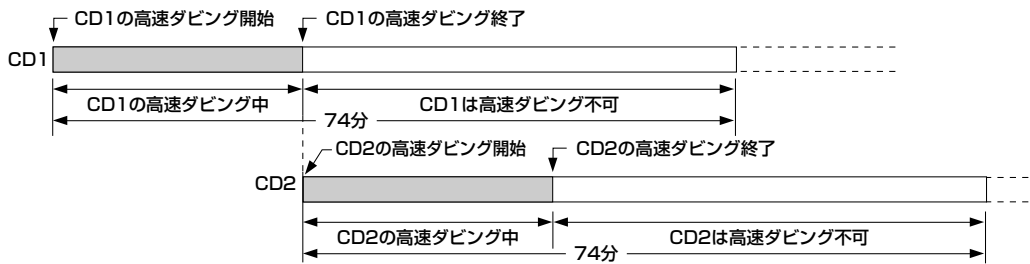
CDダビング中のご注意

►/II、▲などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/IIボタンまたはリモコンのMD►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

CD高速ダビングの制限について

CD高速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD高速ダビングをすることができません。CD高速ダビングをしようとすると“Time Protect”と表示され、そのCDがCD高速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。(例：“Wait 42 min”)他のCDを使用する場合は、続けて録音することができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶CDとMDをセットし、►/IIボタンを押して再生を始める

❷CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBINGボタンを押す

ピークサーチを行い、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。（ピークサーチが行われるDLAリンク機能は、「オフ」にすることもできます。（☞57ページ）
録音にはCDのトラックと同じだけの時間がかかります。
その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

- CD高速ダビングはできません。
- CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力をCDにしたあとメモリー再生の設定をする

30ページの設定を行います。
（再生はしないでください。再生すると、トラック指定CDダビングになります。）

❷CD DUBBINGボタンを押す

ピークサーチを行い、その後録音が始まります。（ピークサーチが行われるDLAリンク機能は、「オフ」にすることもできます。☞57ページ）

ご注意

- CDがメモリー再生、ランダム再生になっているときは、CD高速ダビングができません。
- 1TR リピート再生モードで録音すると曲番がつかない場合があります。

FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞56ページ）を切り換えて使うと便利です。

1 MDをセットする

2 入力選択部の▲/▼ボタンを（くり返し）押して、入力を「FM」または「AM」にする

3 TUNER（チューナー）の⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンを押して録音したい放送局を選ぶ

!ヒント

録音モードを切り換えるには、REC（レック） MODE（モード）ボタンを押します。（☞56ページ）

4 ●REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする

●REC

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

録音レベルを調節するときは

☞58ページ

レベルシンクのオン、オフを切り換えるには

☞「曲番をつける－レベルシンク」（59ページ）

5 MDの►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して、録音を始める

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。

途中で止めるときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止するには

MDの►/❚❚ボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

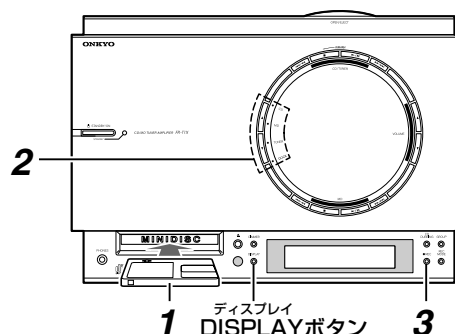
X-T1X(48-59)(SN29344547) 53 07.4.13, 9:30 AM
ブラック

録音する

オンキヨー製品からMDに録音する（シンクロ録音）

- オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。
- 本機のCDからMDへ選曲しながら録音するにも便利です。

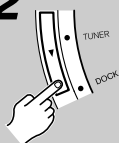
MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

ここではカセットテープデッキから本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

1

録音するソース（接続したカセットデッキのテープ）とMDをセットする

！ヒント　録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞56ページ）

2

入力選択部の▲/▼ボタンを（くり返し）押して、入力を「TAPE 」にする

！ヒント

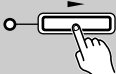
表示名称は前もって「TAPE」にしておいてください。（☞67ページ）

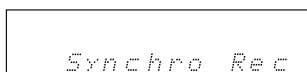
3

●RECボタンを押して、録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

4

（カセットテープデッキ側）

録音するソース(接続したカセットテープ)を再生する

Synchro Rec

録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープ）を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。

ただし、MDの■ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

！ヒント

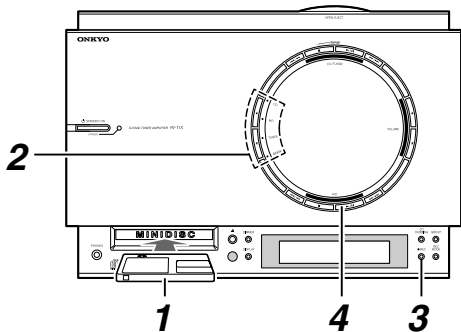
別売のオンキヨー製カセットテープデッキを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

CDからカセットテープへのシンクロ録音
MDからカセットテープへのシンクロ録音

- CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。

X-T1X(48-59)(SN29344547)　54　07.4.13, 9:30 AM
ブラック

外部機器からMDに録音する

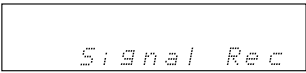
本機と接続した外部機器からMDに録音します。

1	**MDをセットする**
2	**入力選択部の▲/▼ボタンを(くり返し)押して、「DOCK」を選ぶ** SOURCE DOCK **！ヒント** 名称を変えると、その名称が表示されます。(☞67ページ) 録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。(☞56ページ)
3 ●REC	**●RECボタンを押して、録音待機状態にする**
4	**MDの►/❚❚ボタンを押して、録音を始める**
5	**外部機器の再生を始める** MDの最後まで録音すると自動的に停止します。 途中で止めるときは、MDの■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶左項の手順*1* ～*3* を行う

通常の録音待機状態になっています。

❷●RECボタンを押す

Signal Rec

「Signal Rec」が表示されたあと、シグナルシンクロ録音待機状態となり、「Signal Wait」が点滅します。

❸外部機器の再生を始める

外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。
(☞左項の手順 *4* 、*5* を行う必要はありません。)

！ヒント

本機のCDとのシグナルシンクロ録音をすることもできます。

録音レベルを調節するときは

☞58ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞59ページの同項目。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

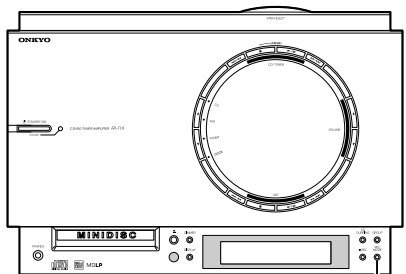
MDの►/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

録音の設定

録音モードを切り換える　MDが停止中

録音を開始する前に設定します。

REC MODEボタンを押すたびに、以下の順で録音モードが切り換わります

録音モードによって録音できる時間が異なります。
1曲ずつ設定できます。

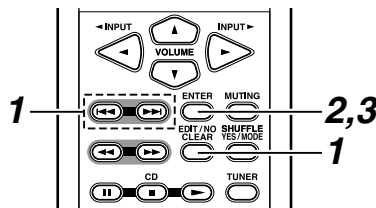
- SP ：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。
- LP2 ：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。
- LP4 ：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。
- Mono ：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

ご注意

「LP2」、「LP4」の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モードの搭載機器以外では再生できません。
また、「LP2」、「LP4」モードで録音したディスクは、SPモード録音と比べて多少音質が異なります。

MDグループ録音設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。
録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。（トラック指定CDダビング時は1曲ずつダビングするため、グループになりません。）

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Group Rec?」を表示させる

Group Rec?

2

ENTERボタンを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でグループ録音モードを設定しますか？の意味です。

- On ：グループ録音モードが働きます。複数の曲をひとまとまりにして録音します。
- Off ：グループ録音モードは働きません。

3

ENTERボタンを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

- この設定でCDダビングや録音をすると、ひとまとまりのグループにして録音します。シンクロ録音やシグナルシンクロ録音では、録音を開始してからMDの■ボタンを押すまでグループにして録音します。

！ヒント

録音中にGROUPボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

MDグループ機能については、36ページをご覧ください。

フェードアウトダビング設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。

この機能を「On」にして、CDダビング、トラック指定CDダビングをすると、ディスクがいっぱいになって最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。（CD高速ダビング時はできません。）

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Fade Dub?」を表示させる

Fade Dub?

2

ENTERボタンを押す

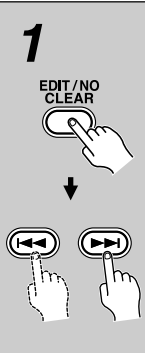
Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

3

ENTERボタンを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、フェードアウトダビングになります。

！ヒント

CDダビング中にCD DUBBINGボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

DLAリンク設定　入力がCDで停止中

DLAリンクとは、CDダビング時に自動で録音レベルを調整する機能です。クラッシックなど小さな音が多く含まれている楽曲は、再生するときに音量を調整しなければならないことがあります。再生するときに同じボリューム位置でお楽しみいただけるよう、CDダビングをする前に高速でピークサーチを行い、録音レベルを調整しています。

CDの音量レベルそのままでCDダビングをしたい場合は、DLAリンク設定を「オフ」にしてからCDダビングをします。「オフ」にするとCDと同じレベルで録音されます。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「DLA Mode?」を表示させる

DLA Mode?

2

ENTERボタンを押す

On → Off?

現在の設定が表示されます。この場合は「On→Off？」でDLAリンクを解除しますか？の意味です。

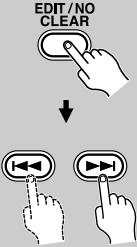
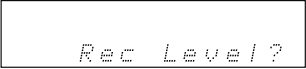
3

ENTER

ENTERボタンを押して確定する

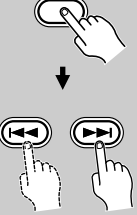
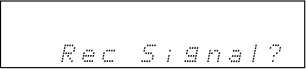
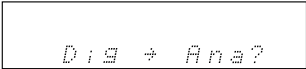
この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、DLAリンクが働きます。CD高速ダビング時は「On」でもDLAリンクは働きません。

録音の設定

録音レベルを調整する

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。

録音するソースを再生中、●RECボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。

録音レベルの調整はCD(デジタル)、CD(アナログ)、チューナー(AM/FM)、DOCKでそれぞれ別々に設定することができます。

● ここで調整したレベルは記憶され、次回録音するときも、同じレベルで録音されます。

1

EDIT/NO CLEAR

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Rec Level?」(録音レベル)を表示させる

Rec Level?

2

ENTERボタンを押す

3

|◀◀/▶▶|ボタンを押して録音レベル(Rec Level)を調整する

レベル表示

– 6.0dB

調整できる範囲は－∞dBから＋18.0dBです。
－12.5dBから＋18.0dBの範囲では0.5dB間隔で、－12.5dBから－30.0dBは2.5dB間隔、－30dBから－60dBは5.0dB間隔で調整できます。

● アナログ録音をするときは、入力レベルが一番高いときに、レベル表示の−4dBが時々点灯するように調整します。

4

ENTERボタンを押す

「Complete」が表示され、調整が完了します。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

入力がCDで停止中

MDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。デジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。ディスクを入れてから設定します。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Rec Signal?」を表示させる

Rec Signal?

！ヒント

CD表示のときに"DIGITAL"が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

点灯

2

ENTERボタンを押す

Dig → Ana?

現在の設定が表示されます。この場合は「Dig→Ana?」でアナログ入力録音にしますか？の意味です。

3

ENTERボタンを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

ご注意

● CD DUBBINGボタンを押すと、設定がデジタルに戻りますので、アナログ録音をするときは、CD DUBBINGボタンを操作しないでください。
● CDを取り出したときも、設定がデジタルに戻ります。

曲番をつける−レベルシンクを切り換える

入力がMDで停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短すぎるとつかないことがあります。）
- CDのデジタル録音のときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所で●RECボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が60秒以上続いた場合、自動的に録音を停止します。
- LEVEL-SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにするとLEVEL-SYNC表示は消えます。）
- ラジオやレコードを録音するときで、曲番がつきすぎる場合は、「Off」にしてください。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Level Sync?」を表示させる

Level Sync?

2

ENTERボタンを押す

On → Off?

「On→Off?」、または「Off→On?」が表示されます。

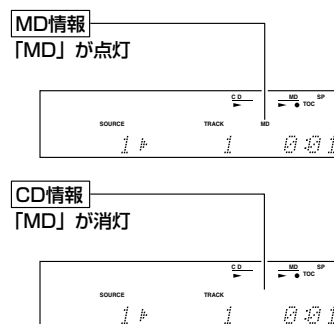
3

ENTERボタンを押す

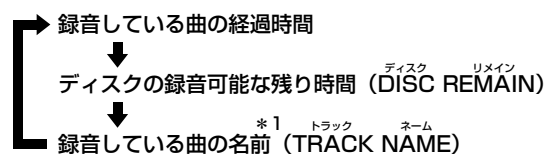
オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。
この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

録音中に表示を切り換える

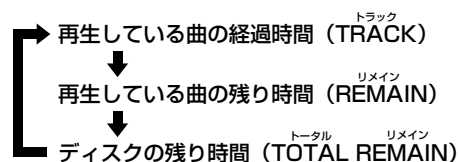
CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。

- 本体の入力選択部の▲/▼ボタン、またはリモコンのINPUT◀/▶ボタンを押すと、CDとMDの表示切り換えができます。

- CD/MD表示切り換え後、DISPLAYボタンを押すと、以下のように切り換わります。

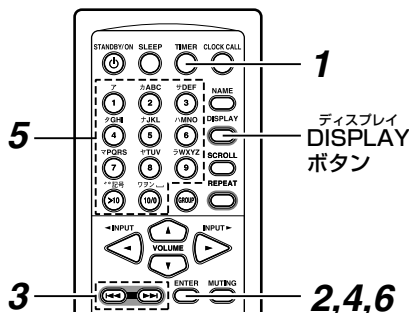
MD情報のとき

録音している曲の経過時間
↓
ディスクの録音可能な残り時間（DISC REMAIN）
↓
録音している曲の名前[※1]（TRACK NAME）

※1 名前がついていないときは表示されません。
☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（68ページ）

CD情報のとき

再生している曲の経過時間（TRACK）
↓
再生している曲の残り時間（REMAIN）
↓
ディスクの残り時間（TOTAL REMAIN）

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）

1

TIMER

TIMERボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示させる

Clock

2

ENTERボタンを押す

SUN 0:00

曜日入力に入ります。

3

⏮/⏭ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

ENTER

ENTERボタンを押して、曜日を確定する

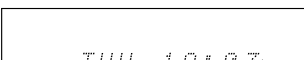
THU 0:00

時間入力に入ります。

5

数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。

24時間表示

12時間（am/pm）表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。

6

時報に合わせてENTERボタンを押す

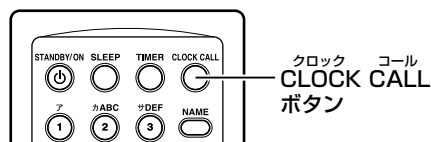
THU 19:03

時計が始動し、秒を示すドットが点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPlay（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機のMD、または本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

演奏機器の設定

AM、FM、 CD、MDまたは本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、タイマー機能のある外部機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。☞67ページ）
タイマーRec（録音）は、FMまたはAMから選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例） Timer 1 毎朝の目覚ましがわりに
タイマーPlay（再生）—Every—Everyday（毎日）—7:00～7:30

Timer 2 毎週のラジオ放送を録音
タイマーRec（録音）—Every—MON（月曜日）～SAT（土曜日）—15:10～15:30

Timer 3 今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマーRec（録音）—Once—SUN（日曜日）—10:00～12:00

ご注意

- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

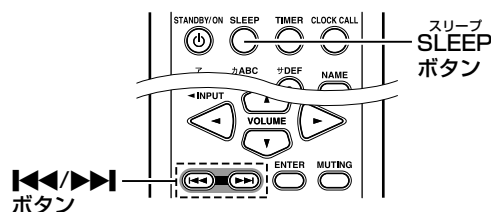
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。□が点灯している数字はタイマーRecが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

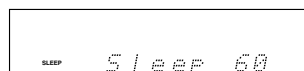
Timer 1　9：00 – 10：00
Timer 2　8：00 – 10：00
↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)
Timer 3　12：00 – 13：00
↑ 優先（タイマー番号が早い方）
Timer 4　12：00 – 12：30

Sleepタイマーを使う

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

SLEEP

SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」と表示されます。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。60と設定すると、60分後に電源が切れます。

SLEEP　Sleep 60

1分単位で時間を設定したいときは、⏮/⏭/ボタンを押します。1～99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

タイマー機能を使う

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞23、24ページ）

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です

1

＜タイマー番号の選択＞

Timer 1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞60ページ）

2

＜タイマー種類の選択＞

Play

または

Rec

⏮/⏭ボタンを押して、タイマーPlay（再生）またはタイマーRec（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマーRecは本機MDまたは本機に接続しているテープデッキに録音されます。

3

＜再生機器の選択＞

F M

⏮/⏭ボタンを押して、再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマーRec(録音)の時は、FMまたはAMから選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して、登録したチャンネルを選ぶ

登録したチャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

FM 87.50MHz 3

4

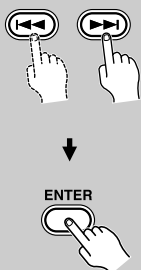
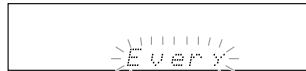
＜録音機器の選択＞（タイマーRec（レック）設定時のみ）

FM → MD

◀◀/▶▶ボタンを押して、録音する機器を選ぶ

MDまたはTAPEを選ぶことができます。ただし、入力名称をTAPEに変えていないときは、テープデッキを接続していても選択することができません。

録音する機器が表示されたらENTER（エンター）ボタンを押します。

5

＜曜日の設定＞

◀◀/▶▶ボタンを押して、“Once（ワンス）”または“Every（エブリー）”を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

SUN

◀◀/▶▶ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

◀◀/▶▶ボタンを押して、曜日を選ぶ

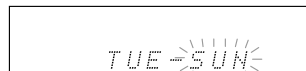
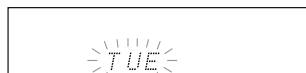
曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON ⇔ SUN、FRI ⇔ SAT ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

「Days Set（デイズ セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON－SAT

TUE

TUE－SUN

① ◀◀/▶▶ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

② ◀◀/▶▶ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

X-T1X(60-70)(SN29344547) 63 07.4.13, 9:42 AM
ブラック

6

＜開始時刻の設定＞

On 7:29

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmで切り換わります。

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。

7

＜終了時刻の設定＞

Off 8:29

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

＜音量の設定＞

TimerVol. 15

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー再生時の音量を設定する

音量は、Mut（タイマーRecのみ）、Lst、1、2、3…と設定できます。
お買い上げ時の設定は、タイマーPlayは15、タイマーRecはMutです。Lst、Mutの動作は次の通りです。

Lst：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にした時の音量）になります。
Mut：MUTING機能が働いて音が消えます。MUTINGを解除すれば最後に聞いた音量になります。

設定する音量を表示させたら、ENTERボタンを押します。

9

＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

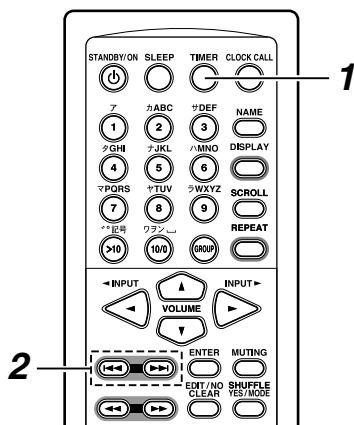
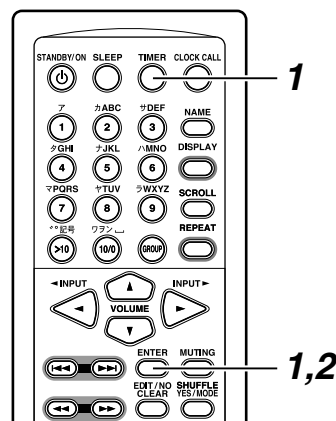
- MDやCDのタイマー再生で、メモリー、ランダム、1 GRモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- お買い上げ時の設定では、タイマーRec（録音）中はMUTING機能が働いて音が消えます。音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。または、タイマーRecの音量設定で適当な音量に設定してください。

タイマー予約をやり直したいときは…

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

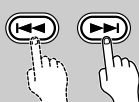
タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行）で設定されている状態です。

2

⏮/⏭ボタンを押して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

Timer On

または

Timer Off

切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2

ENTERボタンを (くり返し)押して、次の内容を確認する

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中⏮/⏭ボタンを押して、設定内容を変更することもできます。

TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認してしばらくすると、もとの表示に戻ります。

確認を途中でやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

音質を調整する

低音を調整する

1

TONE(トーン)ボタンを（くり返し）押して、「Bass(バス)」を表示させる

2

⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTER(エンター)ボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「±０」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、TREBLE(トレブル)(高音)の調整になります。

ご注意

操作中、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

高音を調整する

1

TONEボタンを（くり返し）押して、「Treble(トレブル)」を表示させる

2

ENTER

⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「±０」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ご注意

操作中、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

重低音を強調する

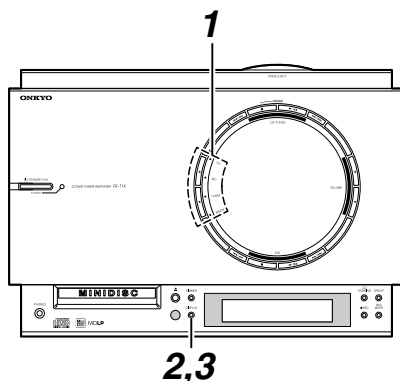
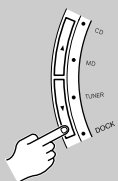
S.BASS(スーパーバス)ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。

X-T1X(60-70)(SN29344547)　66　07.4.13, 9:43 AM
ブラック

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

本体で操作します

1 入力選択部の▲/▼ボタンを（くり返し）押して、「DOCK」を選ぶ

2 DISPLAYボタンを約3秒間押し続ける

Name HDD

3 DISPLAYボタンを押して、名称を選ぶ

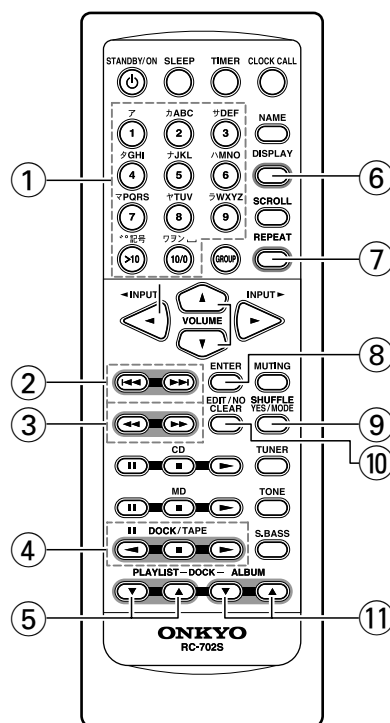
押すたびに次のように切り換わります。

DOCK ⟹ TAPE ⟹ CD-R

2秒後、元の表示に戻ります。

リモコンの操作ボタンについて

接続した機器の表示名称を変えることによって、使用できるリモコンのボタンは右項のとおりです。

- 機器の接続については、18、19ページをご覧ください。
- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。

例：⑨のSHUFFLE/YES/MODEボタンの場合

- DOCK/TAPE端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NRボタンとして働きます。
- DOCK/TAPE端子にDS-A1XなどのRIドックを接続して入力名称を「DOCK」にしたときは、SHUFFLEボタンとして働きます。
- DOCK/TAPE端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「CD-R」にしたときは、MODEボタンとして働きます。

	接続端子	DOCK/TAPE		
	入力名称	TAPE	DOCK	CD-R
①	1~9			1~9
	10/0			10/0
	＞10			＞10
②	⏮/⏭	◀◀/▶▶	⏮/⏭	⏮/⏭
③	◀◀/▶▶		◀◀/▶▶	◀◀/▶▶
④	DOCK/TAPE ▶	▶	▶	▶
	DOCK/TAPE ■	■	■	■
	DOCK/TAPE ◀/Ⅱ	◀	Ⅱ	Ⅱ
⑤	DOCK PLAYLIST ▲/▼		◀ PLAYLIST ▶	
⑥	DISPLAY		BACKLIGHT	DISPLAY
⑦	REPEAT	REV MODE	REPEAT	REPEAT
⑧	ENTER		SELECT	ENTER
⑨	SHUFFLE/YES/MODE	DOLBY NR	SHUFFLE	MODE
⑩	EDIT/NO/CLEAR			CLEAR
⑪	DOCK ALBUMLIST ▲/▼		◀ ALBUM ▶	

MD、登録した放送局に名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMの登録した放送局にはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

FMまたはAMのチャンネルを選び、右項または69ページで「リモコンで文字を入力する」を行います。8文字までの名前がつけられます。

MDにディスク名をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ 右項または69ページで「リモコンで文字を入力する」を行う

MDに曲名をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ ⏮/⏭ボタンを押して、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ 右項または69ページで「リモコンで文字を入力する」を行う

MDにグループ名をつける（グループがあるとき）

❶ MDをセットし、入力をMDにします。
❷ GROUP（グループ）ボタンを押してから、⏮/⏭ボタンを押して、名前をつけたいグループを選ぶ
❸ DISPLAYボタンを押して、「GROUP NAME（グループ ネーム）」を表示させる
❹ 右項または69ページで「リモコンで文字を入力する」を行う

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。（☞73ページ）
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MDの■（ストップ）ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。録音中は次の曲に移ってしまうと、入力したところまでを記録します。再生中は、名前入力が終わるまでその曲をくり返し再生します。グループ名は録音中にはつけられません。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は入力をMDに切り換えてから文字を入力してください。

- MEM（メモリー）、RDM（ランダム）、1GR（グループ）の表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC（トック）表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。

リモコンで文字を入力する

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # $ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣（空白）▯（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

表示されるカンタンネーム
（放送局に名前をつけるときは表示されません。）
⏮/⏭ボタンを押して選んでください。

バラード BALLAD	ポップス POPS	アフリカン African	アンソロジー Anthology	ヘビー Heavy
ブルース BLUES	レゲエ REGGAE	アメリカン American	ベスト オブ Best of␣	ヒット ソングス Hit Songs
CLASSIC	ロック ROCK	エイジアン Asian	[ofの後ろには空白(␣)が１文字分入ります。]	オムニバス Omnibus
ダンス DANCE	ソウル SOUL	ブリティシュ British		セレクション Selection
フュージョン FUSION	テクノ TECHNO	ユーロ Euro	コレクション Collection	スペシャル Special
ジャズ JAZZ	ボーカル VOCAL	ジャーマン German	フェイバリット Favorite	スーパー Super
ライブ LIVE		ジャパニーズ Japanese	ハッピー Happy	␣（空白）

1

NAMEボタンを押す

EDIT/NO/CLEARボタンを押してから、⏮/⏭ボタンで“Name In?”を選び、ENTERボタンを押して文字入力モードにすることもできます。

！ヒント

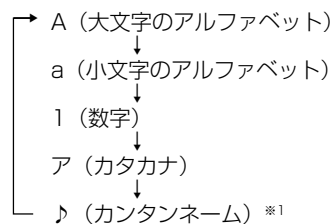
68ページを参照して名前をつけたい項目を表示させておきます。リモコンでは⏮/⏭ボタンで曲を選べます。

2

ENTER

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLLボタンを押すと逆順に切り換わります。

A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）
↓
♪（カンタンネーム）※1

※1　放送局に名前をつけるときには、表示されません。

アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

数字を入力するには
数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。
たとえば、①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（放送局に名前をつけるときは、表示されません。）
数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、③ボタンは押すごとにDANCE→Euro→Favorite→FUSIONなどと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

記号を入力するには
>10ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10ボタンは、␣./＊-,!?&’ ()　10/0ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。
リモコンの⏮または⏭ボタンを押して文字を選び、リモコンのENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

- リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「」や、その他記号の入力は、リモコンの⏮または⏭ボタンを押して選んでください。
- 濁点(゛)や半濁点(゜)は1文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。

3

NAME

NAMEボタンを押して入力を終了する

YES/MODEボタンを押して終了することもできます。

MD、登録した放送局に名前をつける

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、リモコンのNAME(ネーム)ボタンを押してください。

❶ **リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、「リモコンで文字を入力する」（69ページ）の手順 *2* にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押す**

ご注意

EDIT/NO/CLEARボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。
続けて文字を挿入する場合は上記❶❷を、終わるときはNAMEボタンを押します。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、NAMEボタンを押してください。

❶ **リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷ **I◀◀/▶▶Iボタンを押して、「M」を表示し、ENTER(エンター)ボタンを押す**

❸ **「リモコンで文字を入力する」の手順 *2* にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は上記❶❷を、終わるときはNAMEボタンを押してください。

放送局につけた名前を消去する

❶ **入力をAMまたはFMにする**

❷ **I◀◀/▶▶Iボタンを押して、名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ**

❸ **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、I◀◀/▶▶Iボタンを押して「Name(ネーム) Erase?(イレーズ?)」を表示させる**

❹ **ENTERボタンを押す**
「Complete(コンプリート)」と表示され名前が消去されます。

MDにつけた名前をコピーする

他のディスクや曲につけた名前をコピーして使うことができます。
コピーできるのは、ディスク名、曲名、グループ名で、それぞれ最後につけた名前がコピーされます。
ここでは、グループ名をコピーする操作を説明します。

❶ **グループに名前をつける（前ページ参照）**

❷ **同じ名前をつけたいグループを選ぶ**
グループからはグループへのみ、トラックからはトラックへのみ、ディスクからはディスクへのみコピーできます。

❸ **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、I◀◀/▶▶Iボタンを押して、「Name(ネーム) Copy?(コピー)」を表示させる**

❹ **ENTER(エンター)ボタンを押す**
「Complete」と表示されたあと、その名前を表示します。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

CD/MDチューナーアンプを冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、CD/MDチューナーアンプの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。CD/MDチューナーアンプをご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、CD/MDチューナーアンプの電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について

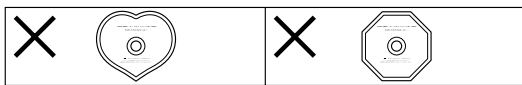
CD/MDチューナーアンプには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。CD/MDチューナーアンプの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

CDについて

再生上のご注意

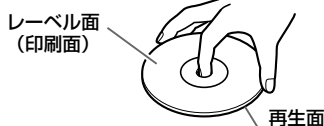
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※CD/MDチューナーアンプは音楽用CD（CD-DA）として録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、CD/MDチューナーアンプで再生できない場合があります。

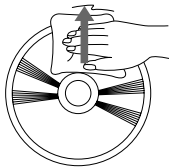
取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CDのお手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

MDについて

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。CD/MDチューナーアンプはシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則*があります。

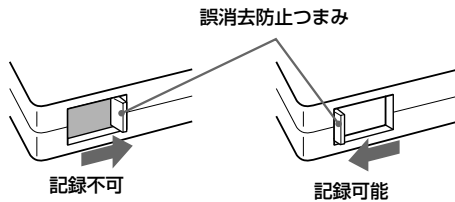
* CD/MDチューナーアンプにはデジタル入力端子がありませんので、一部下記の原則は該当しません。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、一度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、一度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古い蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

長時間使用しないときは

MDがCD/MDチューナーアンプの中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDをCD/MDチューナーアンプから取り出しておいてください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
  ＭＤは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

- **MDへの録音状況によっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**

- **録音方法により曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**

- **編集でできた曲で早戻し、早送りを行うと、音が途切れることがある。**

- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」が長く表示されます。

- **MDには約1,700文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。

- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

MDLPについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

- **ディスクに入るトラック数/グループ数/入力文字数**
  80分ディスクの場合で、最大255トラック、99グループ、約1700文字を記録することができます。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている。(「シリアルコピーマネージメントシステムについて」、72ページ参照)
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Read ＊＊＊	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。他のディスクを入れてください。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。デジタルで録音したCD-Rをデジタル録音しようとした。
Cannot Write	TOC更新時、ディスクの傷等のため、正しく書き込むことができなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。(CD、MD)
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない。(「MDのシステム上の制約について」、73ページ参照)
Er CD＊＊＊	CDが正しく働いていない。(電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。)
Er MD＊＊＊	MDが正しく働いていない。(電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。)
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Group Disc	グループ録音したMDをグループモードに設定せずに編集しようとした。
Group Full	グループ数が99を超えている。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
MD Writing	MDへの書き込み中
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Track	再生、編集する曲が無い。(曲のあるグループ、グループに入っていない曲を選んでください。)
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
Time Protect	CD高速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD高速ダビングしようとした。
TOC From＊＊＊	記録されているTOC情報に異常があり読めない。(全曲削除して録音をやり直してください。)

※＊＊＊には、数字や記号が入ります。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。また、電源コードのもう一方の側もCD/MDチューナーアンプのAC INLETからはずれていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**（61ページ）**
- タイマー再生、録音**（62～65ページ）**は終了時刻が来るとスタンバイになります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いている可能性があります。電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？**（15ページ）**
- ボリュームが最小になっていませんか?
- 入力ソースは正しく選択されているか確認してください。
- MUTINGインジケーターが点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**（21ページ）**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**（21ページ）**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの＋/－が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**（15ページ）**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビとCD/MDチューナーアンプを離してください。
- 携帯電話の通話中などCD/MDチューナーアンプの近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- CD/MDチューナーアンプは回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品のディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

振動で音が途切れる

- CD/MDチューナーアンプは据え置きタイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD/MDに関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- CD/MDチューナーアンプに振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクがCD/MDチューナーアンプに入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- CDの場合は別のディスクがすでに入っていないか、MDの場合はディスクの方向を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。**（71ページ）**

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**（31、35ページ）**

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、CD/MDチューナーアンプで再生できない場合があります。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で“FM ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**（16ページ）**
- アンテナの位置を変えてみてください。**（22ページ）**
- テレビやコンピューターから離してください。
- アンテナをスピーカーや他のケーブル類から離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。**（25ページ）**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をお薦めします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

困ったときは

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常約3日間は保持されます。登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。
(22ページ)

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。(9ページ)
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついているとCD／MDチューナーアンプが誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
(17～19ページ)
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。
(67ページ)

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。
(60ページ)
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。
(64ページ)
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。
(61ページ)
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。(67ページ)
- タイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。(60ページ)

MDの録音/編集に関して

MDの録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報はMDを取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される
- 再生用のMDです。録音用と交換してください。

「Protected」と表示される
- MDが記録不可状態になっています、誤消去防止つまみをずらして解除してください。

「Disc Full」と表示される
- MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。

「Retry Error」と表示された
- いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、修理窓口にご連絡ください。
- ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音ができない場合があります。

録音レベルが小さい/音が歪む

- 録音レベルを調整してください。(58ページ)

「CDダビング」ができない（デジタル録音されたCD-Rは、CDダビングなどのデジタル録音はできません。）

- 「Peak（ピーク） Search（サーチ）」と点滅している場合は、音量を自動補正するDLAリンク機能が働いています。点滅後、ダビングを開始しますのでお待ちください。また、DLAリンク機能を「オフ」にすることもできます。(57ページ)

「CD Dub Fail」と表示される。
- MD部が動作中です。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください。
- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。

「CD高速ダビング」ができない。
- CDがメモリー、ランダム再生モードになっているとCD高速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
また、CD高速ダビング開始後、同じCDを74分以内にCD高速ダビングすることはできません。(51ページ)

「CD高速ダビング」で音とびがする
- CD高速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
音とび、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない

- 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

録音すると必ずグループができる

- グループ録音の設定が「オン」になっています。「グループ録音」の設定を「オフ」にしてください。
(56ページ)

録音した曲の始めの数秒が途切れる

- 入力を「MD」にしたとき、「Reading（リーディング）」と表示されている場合は、MDの読み込みを行っています。MDの読み込みが完了してから、録音を開始してください。

録音時、瞬間的にノイズが発生する

- MDモードのLP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間と、録音時間・残録音時間の合計が一致しない

- ディスクの録音箇所には一定の範囲（時間）単位での録音がされるために、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

録音したディスクを再生すると音が小さい/大きい

- 録音レベルを調整してください。**（58ページ）**

名前がつけられない

- 録音用のMDを使用してください。MDの誤消去防止つまみが開いて録音不可状態になっている場合は、誤消去防止つまみを閉じて解除してください。**（73ページ）**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。**（35ページ）**

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる

- グループ録音設定がオンになっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1Trと表示されます。

グループ録音設定をオンにしているのにグループにならない

- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MDの■（ストップ）ボタンを押すとそこでグループが終わります。

たくさんの曲数に分割して録音されてしまう

- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲数がたくさん付く場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合はレベルシンク機能をOFFにしてください。

曲番が付かない

- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない

- LP2やLP4（MDLPモード）を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。

MDの編集ができない

- MDは録音用を使用し、録音不可状態は誤消去防止つまみをずらして解除してください。**（73ページ）**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。**（35ページ）**
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。**（47ページ）**
- また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（ LP2とLP4など）**（47ページ）**

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

その他

ディスクが熱くなる

- 外気温や動作状態にもよりますが、CD/MDチューナーアンプによってディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。

電源コードをコンセントに 差し込んだとき、「RESET」と表示される

- 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリーの内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行なってください。

CD/MDチューナーアンプはマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

■ すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. 電源コードをコンセントから抜きます。

2. STANDBY/ON（スタンバイ/オン） ボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込みます。

表示部に「RESET（リセット）」と表示されたあと、スタンバイ状態になります。

主な仕様 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部

■総合
電源・電圧 AC 100V、50/60Hz
消費電力 42W
待機時電力 0.2W
最大外形寸法 298(幅)×204(高さ)×222(奥行)mm
質量 3.7kg
音声入力
　アナログ 1
音声出力
　アナログ 1
　サブウーファープリアウト 1
　スピーカー 1系統
　ヘッドホン 1
クロック精度 月差±60秒（25℃）

■アンプ部
実用最大出力 10W＋10W
(6Ω、40Hz〜20kHz、
全高調波歪率10%以下、2ch駆動時)
全高調波歪率 0.07%(1kHz 1W出力時)
0.4%(40Hz〜20kHz 1W出力時)
ダンピングファクター 25（6Ω）
入力感度/インピーダンス 200mV/50kΩ(DOCK/TAPE)
周波数特性 20Hz〜50kHz/±3dB（DOCK/TAPE)
トーンコントロール最大変化量
±10dB、100Hz（BASS）
±10dB、10kHz（TREBLE）
＋4dB、80Hz（S.BASS1）
＋8dB、80Hz（S.BASS2）
SN比 80dB（DOCK/TAPE, IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス 6Ω〜16Ω

■チューナー部
＜FM＞
受信範囲 76.0MHz〜108.0MHz＊
受信感度 Stereo 17.2dBf 2.0μV（75Ω IHF）
Mono 11.2dBf 1.0μV（75Ω IHF）
SN比 Stereo 65dB（IHF-A）
Mono 67dB（IHF-A）
歪率 Stereo 0.5%（1kHz）
Mono 0.4%（1kHz）
ステレオセパレーション 35dB（1kHz）
＜AM＞
受信範囲 522kHz〜1629kHz
実用感度 30μV
SN比 40dB
歪率 0.7%（1kHz）

■CD部
周波数特性 20Hz〜20kHz
ダイナミックレンジ 75dB
全高調波歪率 0.02%
ワウ・フラッター 測定限界以下
(±0.001% W.PEAK)
音声出力電圧/インピーダンス
1.0V/2.2kΩ（DOCK/TAPE OUT）

■MD部
録音可能サンプリング周波数
44.1kHz（内部CDデジタルダビング時）
再生サンプリング周波数 44.1kHz
録音・再生時間
最長5時間20分
周波数特性（デジタル音声） 20Hz〜 20kHz
ダイナミックレンジ 80dB
出力電圧/インピーダンス 1.0V/2.2kΩ(DOCK/TAPE OUT)

スピーカー部

D-T1X
形式 2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス 6Ω
最大入力 40W
定格感度レベル 80dB/W/m
定格周波数範囲 60Hz〜50kHz
クロスオーバー周波数 8kHz
キャビネット内容積 2.8リットル
最大外形寸法 133(幅)× 232(高さ)×224(奥行)mm
(サランネット、ターミナル突起部含む)
質量 1.1kg
使用スピーカー
　ウーファー 8cm A-OMFダイアフラム
　ツィーター 2cm バランスドーム型
ターミナル プッシュ式
防磁設計 有（JEITA）

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1ch、2ch、3chの音声を聞くことはできなくなります。

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製品名 X-T1X
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

X-T1X(71-80)(SN29344547) 79 07.4.13, 9:49 AM
ブラック

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30〜17：30
（土·日·祝日·弊社の定める休業日を除きます）

G0704-1

SN 29344547